

第七十回帝國議會
衆議院

一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル
法律案外二件委員會會議錄(速記)第十四回

會議

昭和十二年三月二十二日(月曜日)午後二時
三十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 木暮武太夫君

理事渡邊玉三郎君 理事田村 秀吉君

理事佐藤謙之輔君 理事小谷 節夫君

理事片山秀太郎君

渡邊 鏡藏君

牧山 耕藏君

松田 正一君

尾崎 重美君

鈴木康太郎君

藤井 達二君

服部 教一君

氏家 清君

中村 又一君

宮澤 胤男君

今井 健彦君

青木雷三郎君

沖 藏君 松山常次郎君

志賀和多利君 綾川 武治君

塚本 重藏君 田川大吉郎君

伊豆 富人君

三月二十日日本銀行金買入法中改正法律案

(政府提出)、昭和十二年度一般會計歲出ノ

財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律

案(政府提出)及神戸商業大學移轉改築費ニ

充用シタル金額ノ補填ニ關スル法律案(政

府提出)ノ審査ヲ本委員會ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 兼拓務大臣 結城豐太郎君

外務大臣 佐藤 尚武君

出席政府委員左ノ如シ

對滿事務局次長 青木 一男君

關東局事務官 高瀬 武寧君

外務省通商局長 松嶋 鹿夫君

外務書記官 土田 豐君

外務書記官 森島 守人君

大藏次官 賀屋 興宣君

大藏省理財局長 關原 忠三君

大藏省銀行局長 和田 正彦君

大藏書記官 谷口 恒二君

大藏書記官 木内 四郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツ

ル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

恩給法中改正法律案(政府提出)

恩給金庫法案(政府提出)

會計検査院法中改正法律案(政府提出)

昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲

公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件

ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)

(政府提出)

昭和七年法律第十二號中改正法律案(造幣局

資金拂出ニ關スル件)(政府提出)

日本銀行條例中改正法律案(政府提出)

日本銀行參與會法廢止法律案(政府提出)

東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特

別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關ス

ル法律案(政府提出)

帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿

洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退

官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關ス

ル法律案(政府提出)

日本銀行金買入法中改正法律案(政府提出)

昭和十二年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲

公債追加發行ニ關スル法律案(政府提出)

神戸商業大學移轉改築費ニ充用シタル金額ノ

補填ニ關スル法律案(政府提出)

事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關

スル件(政府提出)

昭和七年法律第十二號中改正法律案(造

幣局資金拂出ニ關スル件)(政府提出)

日本銀行條例中改正法律案(政府提出)

日本銀行參與會法廢止法律案(政府提出)

東京農業教育專門學校創設ニ伴フ帝國大

學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關

涉ニ關スル法律案(政府提出)

帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及

南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓

ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公

債發行ニ關スル法律案(政府提出)

日本銀行金買入法中改正法律案(政府提

出)

昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案(政府提出)

神戸商業大學移轉改築費ニ充用シタル金額ノ補填ニ關スル法律案(政府提出)

○本審委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、此際本委員會ニ付議サレテ居リマスル法律案ニ付キマシテ、未ダ政府ノ詳細ナル御説明無キモノニ對シテ、政府ヨリ詳細ナル御説明明ヲ願ヒタイト思ヒマス——賀屋政府委員

○賀屋政府委員 日本銀行金買入法中改正法律案ニ關スル提案理由ヲ御説明申上ゲマス、昭和九年第六十五議會ニ於テ御協賛ヲ經マシタ日本銀行金買入法ニ依リ、日本銀行ハ金ノ買入ヲ實行致シテ參ッタノデアリマスガ、同行ノ金買入額ノ増加ト共ニ、同法第四條第一項ニ依リ政府ガ日本銀行ニ對シテ負擔スル債務モ亦増加致シマシタノデ、一昨年第六十七議會ニ於テ其債務負擔限度ヲ一億圓ヨリ二億圓ニ擴張スル改正案ヲ提案致シ、御協賛ヲ得タノデアリマス、然ルニ三月十八日迄ノ日本銀行ノ金買入額ハ、三億千八百八十八萬千餘圓ニ達シ、之ニ對シ政府ノ負擔スル債務ハ一億七千七百六十七萬餘圓ニ上リ、之ヲ政府債務負擔限度ノ二

億圓ヨリ差引キマス、負擔餘力ハ二千二百三十二萬九千餘圓ニ過ギナイノデアリマス、隨テ今後日本銀行ヲシテ金ノ買入ヲ支障ナク續行セシムル爲ニハ、金ノ產出額増加等ノ趨勢ニ稽ヘ、此際政府ノ債務負擔限度ヲ更ニ二億圓増加致シマシテ、四億圓ト爲スヲ適當ト認メルノデアリマス、次ニ内外ノ情勢ニ顧ミ我國現在ノ爲替水準ハ之ヲ維持スルコトガ必要ト認メラル、ノデアリマスガ、之ガ爲ニハ或程度ノ金ヲ現送シテ、在外資金ヲ補充スルノ要ガアルモノト考ヘルノデアリマス、然ルニ現在ノ日本銀行金買入法ニ依レバ、在外資金ヲ補充スル爲メ日本銀行ノ保有スル金ヲ外國ニ現送スルノ途ハ、日本銀行ガ本法ニ依リ買入レタ金ヲ、同法第五條ニ依リ國庫金ノ勘定ニ移シ、政府ニ於テ之ヲ現送スルノ外途ガナイノデアリマスガ、此種ノ操作ハ場合ニ依ッテハ日本銀行、自ラ之ヲ爲サシムルノ途ヲ拓イテ置クノヲ適當ト考ヘラレマスノデ、政府ガ日本銀行ニ對シ、同行自ラ買入金ヲ海外ニ現送シテ之ヲ賣却スル等ノ處分ヲ爲スベキコトヲ命ジ得ルコト、シ、且日本銀行本ガ金ノ處分ニ依リ得タル利益ハ、總テ之ヲ政府ニ納付セシムルコト、スルヲ適當ト認メタノデアリマス、以上ノ理由ニ依リ茲

ニ本法案ヲ提出シタ次第デアリマス

次ニ昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案提出ノ理由ニ付キマシテハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通り、昭和十二年度歳入歳出總豫算ニ伴フ一般會計歳入不足ノ補填ニ付キマシテハ、既ニ法律案ヲ今期議會ニ提出シテアリマスルガ、別途提出致シマシタル同年度歳入歳出總豫算追加第一號ニ計上セル經費ノ財源ニ付キマシテモ亦今日ノ場合其大部分ハ公債ニ依リノ外アリマセヌノデ、五千二百二十萬圓ヲ限り公債ヲ發行シ得ルコト、シ、本法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、尙本法律案ハ前述ノ如ク、總豫算ニ伴フ歳入補填公債法案ガ目下御審議中ナルニ鑑ミマシテ、別ノ法律案ト致シタ次第デアリマス

神戸商業大學移轉改築費ニ充用シタル金額ノ補填ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ申上ゲマス、大體ハ本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通り、昭和三年度ニ於テ施行致シマシタル元神戸高等商業學校ノ移轉改築ノ經費竝ニ昭和四年度ヨリ昭和十年度ニ互リ施行致シマシタル神戸商業大學ノ移轉改築ノ經費ニ充用致シマシタル百三十二萬七千四百五十二圓六十六錢ニ付テハ、現行法ニ依

リマスルト、昭和十一年度迄ニ、官立大學資金ヨリ一般會計ニ之ニ相當スル金額ヲ繰入ル、コトヲ得ルコトニ定メラレテアリマスルガ、官立大學資金ハ昭和十一年度迄ニハ之ガ繰入ヲ爲スコトガ出來マセヌノデ、昭和十三年度迄ニ繰入ル、コトヲ得ルヤウニスル爲メ本法律案ヲ提出致シタノデアリマス

次ニ昭和七年法律第一號中改正法律案中修正ニ關スル說明ヲ申上ゲマス、昭和七年法律第一號即チ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律ノ改正法律案ニ對シ修正ヲ加ヘルコトニ相成リマシタノデ、其次第ヲ簡單ニ說明致シマス

目下當委員會ニ付託サレテ居リマスル昭和七年法律第一號中改正法律案ハ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲メ發行シ得ル公債ノ發行限度ヲ從來ノ九億九千四百五十萬圓ヨリ十二億六千萬圓ニ増額セントスルモノデアリマスルガ、今回別途提出致シマシタル昭和十二年度一般會計歳入歳出總豫算追加第一號ニ於テ、滿洲事件費ニ屬スルモノガ四十三萬餘圓アリマスルノデ、之ニ伴ヒ昭和七年法律第一號ニ依リ發行シ得ル公債ノ發行限度ヲ十二億六千四十萬圓ニ増額致ス必要ガアルノデアリマス、仍テ議院法第三

十條ニ依リ本修正ヲ提出致シ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御賛成ヲ與ヘラレンコトヲ御願スル次第デアリマス

○木暮委員長 只今政府カラ詳細ナル提案理由ノ御説明ノアリマシタ日本銀行金買入法中改正法律案外二件ニ付キマシテハ此際質問ヲ後廻シニ致シマシテ、昭和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲ニ公債發行ニ關スル法律案外六件ニ付キマシテ前日通り質問ヲ進メタイト思ヒマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○木暮委員長 ソレデハ御異議ナイモノト認メマシテ、通告順ニ依ッテ質問ヲ進メマス——片山秀太郎君

○片山委員 私ハ今ノ滿洲國ノ治外法權撤廢ニ關シマシテ少シバカリ質問ヲシテ見タイト思ヒマス、抑、中華民國ニ於ケル治外法權撤廢ト云フ問題ハ、相當古イ問題デアリマシテ、長イ間世間ノ研究ニモ供セラレタ次第デアリマスルカラ、相當各方面ニ於キマシテ、色々ナ議論モ出テ居リマシタノデアリマスガ、滿洲國ハ特殊ノ關係ガ出來マシタノデ、其方面カラ見テモ、他ノ民國ノ部分ニ對スルヨリモ一層色々ナ意味ニ於テ緊急ナコトデアアルカモ知レヌトハ思ヒマス

ガ、之ヲ判斷致シマスニ付キマシテ、少シ御聽キシテ置キタイト思フノデアリマス、

第一滿洲國ノコトヲ論ジマス前ニ中華民國全體ノコトヲ一應知ッテ置ク必要ガアルト思ヒマス、治外法權ト云フコトハ理論上カラ言ウテ宜クナイコトデアリマセウ、併ナガラ中華民國ニ於ケル現在ノ政治狀態ガ果シテ此制度ヲ速急ニ撤廢シテ宜イ程度ニサッデ居ルノデアラウカ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、我が帝國ノ國民ガ彼ノ地ニ在留ヲシマシテ、若クハ旅行ヲ致シマシテ、裁判事件ニ關係ヲセネバナラスト云フヤウナ事態ニ立到ッタ場合ニ於テ、直チニ民國ノ裁判所ニ於テ審理ヲサレテ少シノ不便モナイカ、斯ウ云フ問題デス、是ガ質問ノ骨子デアリマス、之ヲ裏カラ申シマス、中華民國ニ於ケル法律及ビ之ヲ運用スル裁判制度ニ關シテ——治外法權ノ撤廢ガ叫バレ出シテカラ約十五年ニナッデ居リマスガ——其當時ト幾許ノ進歩ヲ來シテ居ルモノカト云フ認識ノ問題デアリマスガ、其點ヲ併セテ御聽シタイト思フノデアリマス

○青木政府委員 只今ノ御質問ハ中華民國ノ問題デアリマスガ、只今外務省ノ政府委員ヲ呼ビニ行キマシタカラ、暫ク後廻シニ願ヒタイト思ヒマス

○木暮委員長 對滿事務局ニ對スル御質問ハアリマセヌカ

○片山委員 外務省ノ政府委員ノ見エマス迄、滿洲特殊ノ事情ニ付テ御尋致シマス、私共滿洲ニ關係ヲ持チマシテカラ約十數年ニナリマス、其當時ニ於キマシテ、アノ地方ヲ旅行シ若クハアノ地方ニ在住ヲシテ居リマシタ經驗ニ依リマスルト、大體ニ於テ斯ウ云フ感ジヲ懷イタノデアリマス、即チ此地ニ於テ若シ治外法權ト云フモノヲ撤廢サレルナラバ吾々ハ住ンデ居ラレナイト云フ感ジヲ懷イタノデアリマス、然ルニ其後滿洲事變ガ起ッテ滿洲國ガ生レマシタ、私ハ其滿洲國ノ出來タ當時ニ於テ、彼地ヲ旅行致シマシタガ、形勢混沌タル事態デアリマシテ、法律關係ナドヲ詳サニ味フ機會ヲ得

ニ於テ、吾々ガ十數年以前ニ懷イテ居ッタヤウナ感ジヲ全部拂拭スルヤウナ程度ニ制度ガ完備シテ居ルカドウカ、此點ヲ一ツ御伺致シタイト思ヒマス

ナカッタノデアリマス、然ルニ滿洲國ノ法令ダトカ或ハ其他新聞紙等ノ報道スル所ヲ其後注意シテ詳細ニ見テ居リマス、我國カラモ澤山ナ裁判官等ガ彼地ニ行クコトニナリ、法制ノ如キモノモ寧ロ吾々ノ目カラスレバ、餘リ澤山出過ギハセヌカト思フ程出テ居リマス、併ナガラ、サウ云フ法制ヲ十分ニ運用シテ行キ、且ツ新シイ事態ニ適應スルヤウナ裁判制度ト云フモノガ今日確立サレテ居ルカドウカ、此數年間滿洲事件後

○青木政府委員 御話ノ如ク滿洲國ハ建國以來法律制度各般ニ互リマシテ劃期的ノ進歩發達ヲ遂ゲテ居リマス、其中ニハ固ヨリ我國ノ知識經驗豐富ナル日系官吏ノ協力ニ依ッタモノモ少クナイコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、其法制整備ノ程度ハ、今日マデモ相當公ニ公布サレテ居ル分モアリマスガ、尙ホ昨年ノ六月ノ第一回ノ條約後ニ於キマシテ、更ニ一段力ヲ加ヘマシテ、只今法典編纂事業ヲ進メテ居ルモノモ少クナイノデアリマス、近イ中ニ是等ノ事業モ一段落スルノデアリマス

○片山委員 法典ノ編纂事業ト申シマスガ、ソレハ民事、刑事ニ互ル一般法制ニ關スルコトデアラウト推測致シマスガ、ドウ云フ程度又ドウ云フ内容ノ法制ヲ御作リニナル積リデアリマスカ、大體ノ見當デ宜シウゴザイマスカラ、伺ヒタイト思ヒマス

○青木政府委員 滿洲國ガ文明國ト致シマシテ、又一面ニハ我國トノ特殊不可分ノ關係カラ考ヘテ見マシテ、裁判並ニ行政上一通り差支ナイ法制ハ今日準備致シテ居ル次

第デゴザイマス

○片山委員 私ノ質問ガ能ク分ラナカッタト見エマシテ、御答ガ質問ニ適合シテ居リマセヌ、私ハ斯ウ云フコトヲ御尋シタイノデアリマス、今現ニ法制ヲ編纂サレテ居ルト云フカラ、ソレハ多分民事、刑事ニ關スル一般の法制ダラウト思フガ、其内容ハドウ云フ風ニナサレルノデアルカ、大綱ミノコトデ宜シウゴザイマスカラ御答ヲ願ヒタイ、斯様ニ御尋シタノデアリマス

○青木政府委員 内容ニ付キマシテハ、目下滿洲國ノ當局ニ於キマシテ、或ハ我國ノ專門家ノ意見モ徴シマシテ、準備ヲ進メテ居ル所デアリマスカラ、内容ニ付テマダ確定案トシテ私ヨリ申上ゲル迄ニハ達シテ居ラナイノデアリマス

○片山委員 確定案ヲ御尋シタノデアアリマセヌ、モウ少シ詳シク私ノ方カラ述べマス、斯ウ云フ意味ナノデアリマス、滿洲國ノ如キ日本カラ見マシテ特殊ノ土地ニ於キマシテハ、御承知ノ如クニ滿洲民族ガ大多數デアリマス、風俗習慣其他一般ノ社會事情ガ餘程吾々ト異ッテ居ル、又個人トシマシテモ思想、感情ガ著シク異ッテ居ル、サウ云フ所ニ特殊ノ法典ヲ拵ヘルト云フコトハ、非常ニ重大ナ問題デナケレバナライ、私

共ハ中華民國ノ法制編纂ト云フコトニ多少ノ意見ヲ持チ始メテカラ茲ニ三十年、然ル

ニ中華民國ニ於テハ今日マデマダ立派ナ法典ガ出來ナイ、之ニ付テハ吾々ノ先輩、吾等ノ同僚ト云フモノガ北京ニ乘込シテ非常ナ苦心ヲ重ネテ、段々草案ト云フヤウナモノガ出來マシタガ、實行ノ運びニ至ッテ居リマセヌ、是ハ何故サウ早急ニ行カナイカト云フト、今申上ゲマスヤウニ法典ノ中ニハ單ニ商賣關係デ以テ、例ヘバ新シイ爲替法ダトカ、或ハ其他ノ商法ニ關スルヤウナ部分ハ、是ハ世界共通ノモノガ直グニ出來マスガ、併シ特殊ノ社會事情ニ適合シタ法制例ヘバ親族法、相續法ト云フヤウナ問題、或ハ其他一般ノ人ノ能力ニ關スル問題ト云フヤウナモノニナリマス、是ハ急速ニ行

キマセヌ、ソコデ是ガ法典ヲ編纂スル上ニ於テ問題ニナリマス、是等ノコトニ付テ、苟モ法制ト云フコトニ考ノアル人ハ、直グ氣ノ付クコトデアリマスガ、滿洲國ニ於テハ今御話ノ通りニ專門家モ居リマセウ、居リマセウガ、其專門家ト云フモノガ、滿洲人ノ心理狀態ヲ能ク諒解スルト云フコトハ、中々困難ナ話デス、デアリマスカラ、今研究シテ居ルカラト云フヤウナ曖昧ナコトデハ満足出來マセヌガ、サウ云フ點ニ對

シテドウ云フ所マデ御進メニナルカト云フコトヲ御聞キスルノデアリマス

○青木政府委員 御質問ノ趣旨ガ能ク分リマシタ、私先程申上ゲマシタ法典編纂事業ト申シマスノハ、今御話ノ如ク民法ノ親族、相續等ニ關スルコトマデモ含メテ、全部近イ中ニ出來上リマス、斯ウ云フ意味デハナイノデアリマシテ、サウ云フヤウナ特殊ナ問題ニ付キマシテハ、或ハ御説ノ如ク特色ト特殊事情ヲ加味スル必要ガアリマ斯诺デ、若干遅レルノヂヤナイカ、斯ウモ考ヘテ居リマス、併ナガラ法ノ運用ノ上ニ於テハ、今マデノ法規ノ運用其他ニ依リマシテ差支ナク行クコト、考ヘテ居リマスガ、サウ云フ一切ノ法典ガ急イデ済ム、斯ウ云フ意味デハナイノデアリマス

○片山委員 私ハ極クザットシタコトヲ聽ク積リデアリマシタガ、御話ガ分ラヌノデ段々小サクナッテ深クナッテ行キマス、ドウモ已ムヲ得マセヌカラ暫ク御辛抱ヲ願ヒマス、今ノ御話ニ依リマスルト、私ノ言ウタ親族、相續ト云フヤウナ方面ノコトハ後廻シニスルト云フコトデアリマスガ、サウシマス、民法デ言ヘバ物權篇、債權篇ト云フヤウナモノ、サウ云フモノヲオヤリニナルト云フノデアリマスルガ、此物權ニ付キ

マシテモ、例ヘバ擔保權ト云フヤウナモノニ付キマシテモ、日本ノ民法ノ如クニ西洋ノ翻譯規定デアレバ卒ザ知ラズ、苟モ彼國ノ物權ニ關スル見解、殊ニ不動産ニ對スル見解ガ吾々トハ非常ニ異ッテ居ル以上、ソレ等ノ點ヲドウ云フ風ニ御考ニナッテ、ドウ云フ規定ヲ御設ケニナル積リデアリマスルカ、承リタイノデアリマス

○青木政府委員 物權ノ問題ニ付テ特殊ノ法制慣習ト云フヤウナコトモ多少伺ッテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ如何ニ調和シテ新シイ立法トスルカ、是モ先程申シマシタ如ク只今尙ホ專門家ナドガ調査中デアリマシテ、未ダ方針トシテ決ツタモノハアリマセヌ

○片山委員 私ハ愈々分ラナクナリマシタ、サウ云フ法制トシテ先ヅ親族相續ニ關スルヤウナモノハ、是ハ人的法規デアリマスカラ、日本カラ向フニ渡ッテ行ッタ人ト滿洲國人トノ間ニ結婚其他ノコトガナイ限りハ、是ハ要ラヌノデアリマスルガ、苟モ吾々ガ滿洲國ニ在住シテ、其處ニ利害關係ヲ持つ以上、物權關係ノ法規ト云フモノハ、日々夜々起ッテ來ル問題デアリマスルガ、サウ云フモノガ無クテ吾々ガ在住スルコトガ出來マセウカ、更ニ假ニサウ云フモノガアル

來マセウカ、更ニ假ニサウ云フモノガアル

トシテ、吾々ノ民法觀念カラ見レバ、非常ニ違フタ規定ニ支配サレテ居ル時ニ、直チニ、裁判所ハ吾々ノ法的觀念ト違フヤウナ判決ヲ下シテ、吾々ガ満足ガ出來マセウカ、其點ノ運用ノコトヲ一寸御聽シタイト思ヒマス

○青木政府委員 物權ノ法制ニ付テハ先程申上ゲマシタ通り、只今研究中デアリマスガ、將來日本人ガ滿洲ニ於テ事業ヲ起シ、其他諸般ノ經濟活動ヲ致シマス上ニ、サウ不便不利ノアルヤウナモノガ出來ヤウトハ考ヘテ居リマセヌノデアリマス

○小谷委員 私ハ第一回ノ委員會ノ時分ニ外ニ質問者ノ御用意ガナカッタモノ、デゴザイマスカラ、私ガ二時間バカリ暇ヲ潰サシテ戴キマシタ、所ガ本日モ外ニ質問者ノ非常ニ御急ギニナルノガゴザイマスルナラバ、其方ヲ先ニシテ、私ハ後ニ廻シテ貰ッテモ差支ナイデゴザイマスガ——私ハ此委員會ノ第一回ノ委員會ノ時分ニ、總理大臣ニ御尋シマシタ問題ニ付テ、總理大臣兼外務大臣ハ「只今御話ノ事件ハ當時ノ事情等モ詳シク存ジマセヌガ、唯承ッタ所ダケデハ何トカ其當時モウ少シ考ヘラレタナラバ然ルベキデアッタラウト斯ウ云フ風ニ考マス、併シ其當時ノ事情ハ能ク知リマセヌカラ之ニ

對シテ論評スルコトハ避ケマス」、是ハ川越君ノ問題ニ對シテ私ガ聽キマシタノニ對スル御返事ダッタノデアリマスガ、是ハ三月二日デアリマス、調ベテ御覽ニナレバ、モウ半月以上経ッテ居ルノデゴザイマスカラ、能ク御分ニナラナケレバナラヌ譯デアリマス、併シ是ガ官僚内閣ノ常套手段デアリマシテ、其場サヘ胡麻化シテ置ケバソレデ宜イ、三箇月ト申シマシテモ、實質ニ於テハ三箇月ノ議會ノ間ダケヲ何トカカトカ胡麻化シテ置ケバソレデ宜イト云フノガ、是ガ官僚内閣ノ從來ノ常套手段デ、調ベレバ調ベラレルコトデモ調ベラレナイデ、ウッチヤッテ置イテ、其儘オ茶ヲ濁シテ、サウシテ、議會以外ノ場合ニハ、獨善主義デヤッテ行カウト云フ弊ガアルノデアリマスガ、新任ノ外務大臣ハサウ云フヤウナ御考ハナカラウト思ヒマスルガ、私此三月二日ニ質問致シマシテ、ソレニ對シテ外務大臣ガ御答ニナッタ、ソレニ對スル御調ヲオヤリニナッタカドウカ、ソレヲ御質問シテ見タイト思ヒマス

○佐藤國務大臣 御尋ノ事件ハ實ハ私自身甚ダ遺憾デゴザイマスルガ、直接ニ取扱ッテ居ラナカッタ事件デゴザイマシテ、私ハ實ハ其問題ニ對シマシテハ不通デゴザイマス、

是ハ率直ニ申上ゲル次第デアリマス、當時ノ林外務大臣カラ取調ベルト云フ風ニ御答ガアッタサウデゴザイマスガ、ソレハ目下進行中ダサウデゴザイマシテ、マダ此處デ御答ヲスル狀況ニ達シテ居ナイト云フコトデゴザイマス

○小谷委員 ソレハ御考違ヒデゴザイマス、取調ノ進行中ト云フノハ茂木副領事ノ使ヒ込ミノ事件ナンデアリマス、是ハ取調ノ進行中デアリマシテ、茂木君ノ使ヒ込ミノ責任ガ川越君ニ十分アルト云フコトヲ私ハ言ッタノデ、ソレハ堀内次官ガ取調ノ進行中デアルト云フ御答デアリマシタ、ソレハ取調ベテ見レバ其處ニ責任ノ在ルコトハ十分ニ分ッテ居ルノデアリマスガ、併シソレハ一應其答辯デ辯解ニハナリマセウ、續イテ手腕問題ニ對シテ取引所ノ問題ヲ話シ、ソレカラ最後ニ大阪毎日、上海毎日ノ兩社員ガ成都デ慘殺セラレタ其報ヲ聽キナガラ、一日魚釣ヲシテ遊び廻ッテ居ッタト云フ問題ニ對シテ、洵ニ遺憾デアッタト云フコトヲ、林外務大臣ガ言ハレタノデアリマス、是ハ青島總領事館ハ電報ヲ打ッテ、斯ウ云フ事實ガアッタカト云フコトヲ御聽キニナレバ即日分リマス、ソレハ不謹慎デアッタカナカッタカト云フコトハ、御取調ニナレバ直グ分

ルコトデアリマス、マダ議會モ數日アリマスカラ、其間ニ電報ヲ打ッテ御取調ニナリマスコトガ出來マセウカ

○佐藤國務大臣 實ハ當時ノ事情ハ私詳細存ジテ居リマセヌガ、併ナガラ前外務大臣ガサウ云フ風ニ御答辯ニナッタトシマスレバ、ソレハ其趣旨デ以テヤラナケレバナラヌト思ヒマスルシ、能ク事情ヲ私自身取調ベテ見タイト考ヘテ居リマス

○小谷委員 三月ノ二日カラ今日マデ掛ッテ御調ガ出來テ居ラヌノデアリマスルガ、併シ其當時ノ事情ヲ能ク知リマセヌカラ之ニ對シテ論評スルコトハ避ケマスト云フ御話ニナッテ居ラレル、事情ハ調ベテ御覽ニナレバ直グ分ル、其點ハ此委員會モマダ明日ヤ明後日ハ續クコトダラウト思ヒマスカラ御調ヲ願ヒマシテ、サウ云フ事實ガアッテ、洵ニ遺憾デアルト云フ御返事ヲ承ルコトガ出來ルカ、或ハソレハ斯ウ云フ事情デアアルカラ、ソシナコトヲシテモ構ハナイノデアルト云フ御返事ヲ承ルカ、其事ヲハッキリ承リタイト思ヒマス、私ハ何モ川越君ト云フ人ニ恩怨ガアッテ、殊更ニサウ云フコトヲ言フノヂヤアリマセヌケレドモ、ドノ省デモ勿論人物ト云フモノハ必要デアリマス、ケレドモ外交ニ對シテハ特ニ人物ト云フモノ

ノ必要ガアルノデアリマス、イツカモ本會議ヲ議論ガ出テ居リマシタ通りニ、人其宜シキヲ得テ外交上ノ物事ヲ處理シテ行クコトガ出來マシタナラバ、十四億圓ノ軍費モ或ハ其半分デ濟ムカモ知レマセヌ、三分ノ一デ濟ムカモ分ラヌ、其意味デ私ハ外交上ニハ特ニ其人物ノ適材適所ヲ得ルコトヲ必要ト思ヒマスルノデ、此事ヲ申上ゲル譯デアリマスルガ、外務大臣ハ支那ノ方面ノ事ヲ餘リ御詳シクナイト云フコトヲ承ッテ居リマスガ、今度ノ議會デモ濟ミマシタナラバ、一應支那ノ方面ノ實情ヲ調べテ御覽ニナル、自分デ一度御覽ニナル御考ガアルカドウカ、一ツ承ッテ見タイ

○佐藤國務大臣 私ハ支那本部ノ事ヲ實ハ餘リ能ク存ジマセヌノハ、只今御話ノ通りデゴザイマスガ、多少知識ヲ持ッテ居ルトスレバ、ソレハ滿洲ニ關シテデゴザイマシテ、滿洲ニハ私ハ哈爾濱ノ總領事時代五年間駐在ヲシタコトガゴザイマスガ、遺憾ナガラ支那本部南支方面ニ關シテハ餘リ知識ヲ持タナイト云フコトハ、是ハ事實デゴザイマス、議會後支那デモ廻ッテ見ルカト云フ御話デゴザイマスガ、私ハ個人ト致シマシテハ勿論サウ云フ旅行ヲ或ル機會ニ實現シタイ希望ハゴザイマス、併ナガラ一國ノ外務大

臣ガ只旅行者トシテ廻リマスルコトハ、甚ダ困難デゴザイマシテ、ソレニハソレニ關聯致シマシテ、色々又國際間ノ問題モ起キテ參リマス、隨テ私ガ果シテ私個人ノ希望ヲ實現シ得ルカドウカト云フコトニ付テハ、非常ニ疑ヲ持ッテ居リマス、但シ私ハ自分ノ知識ノ缺陷ヲ補ハンガ爲ニ、何等カ便法ヲ講ズル餘地ガアルガラウト云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、只今其點ニ關シテモ自ラ考慮中デゴザイマスシ、又他日關係ノ各省大臣等ト御相談モシテ見タイト云フ風ニ感ジテ居リマス

○小谷委員 私ガ斯ウ云フ質問ヲ外務大臣ニシマシタノハ、實ハ過去ニ於テ一ツノ失敗ガアツタカラデアリマス、ト申シマスルノハ、幣原外務大臣ガ外務大臣ニ御就任ニナリマシタ時分ニ、私ハ幣原サンモ支那ノ事ハ餘リ御承知ナイ、ソレデ一遍支那ヲ御覽ニナッテ置ク必要ハアリマセヌカト云フコトヲ申上ゲマシタ時分ニ、幣原サンハ、支那ヲ見ニ行クノハ宜イケレドモガ、支那ヲ見ニ行クトソレガ爲ニ因ハレタヤウナ意見ガ出來ルヤウナコトニナルコトヲ慮レル、却テ支那ヲ見ナイ方ガ自分ハ極ク冷靜ナ判斷ガ出來ル、支那ヲ見ルコトニ依ッテ因ハレタヤウナコトニナルト云フコトヲ慮レルト

云フ御話ガアツタノデアリマス、デ私ハ支那ニ行ッテ實情ヲ見ラレテ、ソレデ因ハレタヤウナ意見ニナラレル程自負的ノ觀念ガ御有リニナラナクテハ困ルデヤアリマセヌカ、實際ノ支那ヲ見タ所ガ獨自ノ自主的觀念ガ傷ケラレルト云フヤウナ、サウ云フアラフラシタコトデハ困ルデヤアリマセヌカト、幣原サンニ惡マレロキイタコトガアリマス、所ガ幣原サンノ外交ハ、中ニハ推賞シテ居ル人モアルカモ知レマセヌガ、國民ノ大多數ハ失敗デアッタト認メテ居ルデアリマス、或ハ幣原外交ガアツタガ爲ニ滿洲事件ガ起ッタカラ、成功デアッタト云フ人モアリマスルケレドモガ、併シソレハコジ附ケデアリマシテ、兎ニ角サウ云フヤウナ私モ過去ニ一ツノ經驗ヲ持ッテ居ル者デゴザイマスカラ、其點ヲ御尋シタ譯デゴザイマスガ、何トカシテ支那ノ實情ヲ十分ニ御承知ニナリタイト云フヤウナ御考デオ居デニナルト云フコトデゴザイマシテ、イラッシヤル、イラッシヤラヌト云フコトハ、マダハキリシタ御返事ヲ承ルコトノ出來ヌノモ已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、私ハ更ニ丁度幣原サンノ御話ガ出マシタカラ一遍此事モ御耳ニ入レテ置キタイト思フノデアリマス、ソレハ滿洲事件ガ起リマスル直前、ゾノ萬

寶山事件ノ起リマシタ時分ニ、私ハ其萬寶山ノ様子ヲ見ニ參リマシタ、所ガ其時分ノ滿洲ニ於ケル日支人ノ關係ト云フモノハ、所謂此議會デ屢、使ハレマシタル一觸即發ト云フヤウナ有様デアリマシテ、是ハ何カ起ルニ相違ナイト云フ氣持ガ致シマシタ、歸リマシテ私ハ直グ其時ノ外務大臣ノ幣原サンニ會ヒマシテ、大變生意氣ナコトヲ申上ゲルヤウデゴザイマスケレドモガ、滿洲デハ必ズ何カ事件ガ起ルニ相違ナイト思ヒマス、若シ事件ガ起リマシタラバ、私ハ幣原外交ト云フモノ、使ヒ場所ガアルト思ヒマスカラ、大砲ノ音ガシテ幣原外交ヲ御使ヒニナルト云フコトハ、是ハ女形ノ役者ニ熊谷直實ヤ辨慶ヲヤレト云フコトニナッテ來ルカラ、茲デハ一ツ陣ヲ退イテ置イテ、後日ノ機會ニ幣原外交ヲ御使ニナルコトハ出來ヌデセウカ、握リ拳ヲ振上ゲテ——血ノ滲ンダ握リ拳デ手ヲ握ラウト云フコトハ、中々出來ルモノデヤナイ、ダカラ握リ拳ヲ振ル役者ト、手ヲ握ル役者ト役者ガ違フノダカラ、一ツドント大砲ノ音ガシタナラバ、是ハ我輩ノ領分デヤナイト云フノデ、幣原外交ト云フモノヲ、ソット取テオ置キニナルコトハ出來ヌモノデスカト云フコトヲ申上ゲタコトガアリマス、話ハ長ウゴ

ザイマスガ、簡單ニ搔摺ンデ申上デレバサ
ウ云フコトニナリマス、幣原サンハ笑ヒナ
ガラ、君ハ若イカラ若イ元氣デエライ理想
論デ言フガ、中々實際ハサウ云フ譯ニ行カ
ヌト云フ御話デアリマシタ、併シ私ハ今カ
ラ考ヘテ見マシテモ、滿洲事件ノアノ最初
ノ場合ニ、若シ私が申上ゲタ通りニ、幣原
サンハ握リ拳ヲ振上ゲルノハ俺ノ主義ニ合
ハナイト云フノデ、マア握リ拳ヲ振上ゲル
方ノ役者ト御代リニナッテ居ッタラバ、哈
爾濱ヤ齊々哈爾ニアレ程厄介ナ問題ヲ起サ
ナクテ済ムシ、錦州問題モ國際聯盟ノ問題
ニナラナカッタ中ニ、片ガ付イテ居ッたらウ
ト思ヒマス、是ハ千載ノ恨事ダト思ヒマ
ス、是ハ今更申上ゲテ見テモ仕方ガアリマ
セヌ、ソレデ私が今申上ゲタイコトハ、過
去ノサウ云フ問題ガアリマスガ、今支那ニ
對スル問題ハ最も重要ナル時期デアリマ
ス、私ハ露骨ニ申上ゲマスガ、吾々ガ素人
考ニ考ヘマシテ、大臣ガ——サウ申シテハ
甚ダ失禮ノヤウデアリマスケレドモ、ドチ
ラカト申シマス、ヤハリ幣原外交的ノ女
形ノヤウナ恰好デ居ラシヤル、ソコヘ持ッ
テ來テ、次官ノ堀内サンガ「ゼントルマン」
デアリマス、「ゼントルマン」デアリマス
ガ、是モ亦女形ノヤウナ恰好デアラレル、

大變外務省ノ人事ニ喙ヲ容レルヤウデアリ
マスケレドモ、國家ヲ思ヒマス爲ニ何トカ
ソコラ邊ニ夫唱婦隨カ何カ、モウ少シ御組
合セガ巧イ工合ニ行カヌモノデヤナカラウ
カ、私ハ何モ堀内氏ノコトヲ彼此レ言フノ
デヤアリマセヌ、實ハ私共トシテハ斷ジテ
私利私慾ノ問題デハアリマセヌケレドモ
ガ、甚ダ外務省ノ首腦部ノ方々ガ、支那ニ
行ッテ仕事ヲシテ居ル人間ヲ分解サセテ、同
ジ日本ノ國ノ中ノ人間ヲ分解サセナケレバ
ナラヌヤウナヤリ方ヲ行ッテハ、外國人ヲ相
手ニシテ外交ナンカ出來サウニナイト云フ
思ガスル問題ガアリマスガ、私利私慾ノ問
題デナイガ、是ハ私ニ少シ關聯シタ問題デ
アリマスカラ、故ラ茲ニ言明ヲ避ケマスガ、
兎ニ角クダラナイコトデ人々ヲ怒ラセルト
云フコトデハ、外國人ニ對シテ本當ニ外交
ガ出來ルカト云フヤウナ氣持ガスルコトモ
アリマス、露骨ニ申シマスレバ、祭政一致
ヲ喧シク言ハレル、國體明徴ヲ喧シク言ハ
レル現内閣ノ外務大臣、次官トシテハ、少
シ過去ノ履歷ニ面白クナイ所ガアリマス、
サウ云フ點モアリマスルシシマスルカラ、
私ハ過去ノ有田外交ニ對スル責任、前内閣
ハ殆ド有田外交ニ依ッテ潰レタト云ッテモ過
言デナイノデアリマスガ、其有田外交ニ對

スル責任モアリマスルシ、色々ナ關係デ以
テマア人ヲ入替ヘテオヤリニナルト云フコ
トガ宜イノデヤナイカ、新聞ハ敢テドウ斯
ウト言フ譯デハアリマセヌガ、新聞デモ此
間頃大分サウ云フ喧シイ議論モ出デ居ッ
ヤウデアリマスガ、近クサウ云フヤウナ工
合ニ、内輪ニ於テ相當ノ入替ヲ御ヤリニナ
ル御氣持ガアルカドウカ、其點ヲ一ツ承ッ
テ置キタイ

○佐藤國務大臣 只今ノ御質問ハ可ナリ機
微ナ問題デゴザイマシテ、私ハ茲ニ御約束
ヲ申上ゲルコトモ差控ヘタイシ、又立入ッテ
御説明申上ゲルコトモ差控ヘタイ次第デゴ
ザイマス、唯私が女型デアリ、堀内君ガ女
型デアル、此二人共サウ云フヤウナ役割シ
カ出來ナイ者デアルガ、ソレデハ不足デア
ラウト云フ御懸念ニ對シマシテハ、サウ云
フ御懸念ヲ御持チニナルト云フコトハ、洵
ニ私共トシテハ遺憾ナコトデゴザイマスル
ガ、果シテ私自身ガ女型デアルカドウカト
云フコトニ付テハ、實ハ自覺ヲ持タナイノ
デゴザイマス(笑聲)

〔委員長退席、佐藤委員長代理著席〕
而シテ外務省ノ人事ノ組合セヲドウスルカ
ト云フ問題ニ付キマシテハ、勿論私ト致シ
マシテモ、慎重考慮ヲ運ラサナケレバナラ

ヌ點デゴザイマス、殊ニ先程モ御指摘ニナ
リマシタ、支那ノ問題ニ關スル現實ノ知識
ヲ持ッテ居ナイ私ガ事ヲ扱フ上ニ於キマシ
テハ、尙更其缺點ヲ補フベク善處シナケレ
バナラヌト云フ風ニ考ヘテ居リマス、是ハ
ドウ云フ風ナ形デ實現シマスルカト云フコ
トニ付キマシテハ、實ハ私モマダ考ヘ中デ
ゴザイマシテ、可ナリ外務省ノ人事ハ困難
デゴザイマス、御承知ノ通りニ、極ク小人數
デ、世界各國ニ跨ガル在外公館ヲ控ヘテ仕
事ヲ致シマスノデ、人ノ入替等モ簡單ニ參
ラナイノデゴザイマス、可ナリ日數ヲ要スル
コトニナリマシテ、急ヲ要スル場合ニ間ニ
合ヒ兼ネルト云フヤウナ不便モ多クゴザイ
マス、隨テ此人事ヲ如何ニシテ充實スルカ
ト云フコトハ私ニ取ッテ頗ル簡單デナイ問
題デゴザイマスルガ、併シ只今申上ゲマシ
タ缺陷ヲ補フベク何トカシタイト云フ考
ハ、十分持ッテ居ル次第デゴザイマス

○小谷委員 今御話ノ事ハ、實ハ私が本會
議デ申上ゲ、同時ニ此委員會デモ申上ゲタ
ノデアリマス、丁度外務大臣御親任以前デア
リマシテ、私ハ繰返スコトハ差控ヘマスガ、
ソレガ又最近此二三日ノ委員會ニモ出デ居
ルヤウデアリマス、外務省ノ人事問題ト云
フコトニ對シテハ、可ナリ私ハ此前詳シク

申上ゲテ居リマスカラ、委員會ノ速記録ヲ御覽ヲ願フタラ分ルト思ヒマス、現ニ私が要求シテ今日戴キマシタ 此外務省ノ特別任用ノ調トカ、或ハ外務省ノ高等官ノ退官調ト云フモノハ、其人事問題ニ關聯シテ之ヲ戴イタ譯デアリマス、アノ外交官試験ヲ通過シテ外交官ニナラレタ、僅カノ頭數ノ人ノ内デ無理ヤリニ遣リ繰ラナサラウトサレルカラ、隨分不適材不適所ノ場合ガ多イノデアリマス、此前ニ申上ゲマシタケレドモ、動亂ヲ極メテ居ル支那ノ奥地ナンカデハ、却テ——私何モ軍人ノ人ヲ謳歌スル譯デモ何デモアリマセヌケレドモ、大佐カ少將位デ豫備ニナツテ、クソ度胸ノ据ッテ居ルヤウナ人々ヲ、總領事ニ持ッテ行ツタリ、或ハ領事ニ持ッテ行ツテ置ケバ、少シザワ／＼スルト居留民ヲウツチャツテ置イテ領事ガ先ニ逃出シタトカ、或ハオ前等一人デモ日本人ト云フ者ガ殘ッテ居レバ、俺ガ逃出ス譯ニイカスカラト言ッテ、無理ヤリニ逃ゲサシタト云フヤウナ、不態ナ事ヲシナクテモ濟ムト思ヒマス、ソレト云フノモ外交官ノ試験ト云フモノガ、言葉ノ試験ヤ、法律ノ試験ハ出來マスケレドモ、膽力ノ試験ヲスル譯ニイカヌ、ダ肚ノ試験ト云フコトヲスル譯ニイカヌ、ダカラ本當ニ肚ノ据ッテ試験濟ミノ人間ヲ、サ

ウ云フ所ニ特別任用ヲナサルト云フコトニナツタラ、支那ニ對スルヤリ方ハ餘程ウマク行クヤウナコトガアリハシナイカ、是ハ架空ノ問題デハナイ、一々私ハ實例ヲ握ッテ居リマスカラ、言ヘト仰シヤレバ何ボデモ言ヒマスケレドモ、短イ時間デ皆様ノ時間ヲ潰シテソシナコトヲ申上ゲル積リモアリマセヌガ、兎ニ角特別任用ノ範圍ヲ擴ゲテ御ヤリニナレバ、今ノ御話ノ御不自由ノ點ガ大分省ケハシナイカト思フノデアリマス、ソレカラ又外務省ノ内輪ハ内輪デ、又私共外務省ノ人ニ能ク聞クノデアリマスガ、三丁目一番地ト云フコトガアリマシテ、高等官三等ノ一級位ノ所ニ大分間ヘテ居ルサウデアリマス、申ニハ私共ノ知ッテ居ル範圍ニ於テモ、非常ナ人材ガアル、唯上ノ方デ頭ヲ壓ヘテ居ル連中ガアルガ爲ニ、サウ云フ人モ頭ヲ伸セヌ、結局外務省ノ空氣ヲ一新スル意味ニ於テハ、若イ人ニデモ三丁目一番地ノ人デモ相當ナ人ガアレバ、ドン／＼之ヲ上ノ方ニ引張ッテ行ク、外ノ方カラハ特別任用デ持ッテ來ル、斯様ナ工合ニシテ空氣ヲ疏通ナサランケレバ、之ノヤウナ外務省ノ因習デハドウモ面白クナイ、斯ウ云フ意味デ申上ゲタ譯デゴザイマス、是ハ大臣デハ御分リニナラヌカモ知レマセヌガ、

今戴キマシタ表ノ中ノ、高等官ノ特別任用者調ト云フモノガアリマスガ、此中ニ高等官一等、二等ト云フ所ニ、此十年バカリノ間ニ七人トカ、十人トカ出テ居リマスガ、是ハ政務次官ヤ、參與官ハ入ッテ居リマセヌカ

○森島政府委員 恐ラク入ッテ居ラヌト思ヒマスケレドモ、何レ取調ベタ上デ御答致シマス

○小谷委員 私ハ是ハ政務次官、參與官ガ入ッテ居ナイトスルト、此數字ハ少シ高等官三等以上ノ特別任用ガ多過ギルト思フ、コシナコトハナイ筈ダト思ヒマス、併シ御調ベニナツテ見ナケレバ、分ラヌト言フナラ已ムヲ得マセヌガ、此表ヲ戴イテ色々ナコトヲ御質問申上ゲヨウト思ッテ居リマス矢先ニ、新聞デ見マスト、豫算委員會ノ方デ可ナリ突込シタ質問モアリ、外務大臣ノ御答辯モアリマシタヤウデ、機構ノ改革カラ、人物ノ入替トカ、十分ニ外交ノ機能ヲ發揮スルコトガ出來ルヤウナ工合ニヤル積リデアルト云フ御答辯ガ出デ居リマスカラ、重ネテ其點ハ伺ハナイコトニ致シマス、丁度片山君カラ治外法權ノ問題ガ出デ居リマシタ、又今出デ居リマス法案ハ、治外法權ニ關聯シタ退職者ノ公債ノ問題デアリマスノデ、

是ハ實ハ私ハ中華民國ノ方ノ治外法權ノ問題ハ、外務大臣ノ御話ノ通りニ、日支兩國ガ對等ノ立場ニ立ッテヤル積リダト云フヤウナ御聲明モ出デ居リマスカラ、日支交渉ガ始リマシタラ早速是ハ向フノ方カラ註文ノ出テ來ル問題ダト思ヒマス、之ヲ向フカラ註文ガ出テ來レバ、ドウ云フ工合ニスル積リダト云フヤウナコトハ、假令委員會ト雖モ、祕密會デナイ此處デ承リマスルコトハ、私ハ日支交渉ノ關係上差控ヘマス、デスカラ御答辯ハ要求致シマセヌガ、一ツノ實例ダケ申上ゲテ、コンナモノデアルカラ輕々シク中華民國ノ方ハ御決メ願ッテハ困リマスト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、極ク卑近ナ例ガ、昨年山東省ノ首席ヲ致シテ居リマス韓復榘ガ、息子ニ嫁サンヲ貰ヒマシタ、所ガ其御祝ダト言ッテ、死刑囚ノ中デヨク／＼極端ナ人間ダケヲ殘シマシテ、二十名ノ死刑囚ヲ二十年ノ期限ニ減刑シマシタ、ソレカラ二十年ノ者ハ十年、十年ノ者ハ五年ト云フヤウナ工合ニシテ、サウシテ一二年ノ輕罪ノ奴ハ特赦シマシタ、山東省ノ首席ガ、其山東省ノ自分ガ捕ヘテ居ル犯人死刑囚等色々ナ者ヲ、自分ノ息子ノ嫁取りノ爲ニ特赦スルト云フヤウナコト

ガ、マダ行ハレテ居ルノデアリマス、ソレカラ此間外交ノ事デ外務省ノ方ノ御答辯モアリマシタケレドモ、併シ兎ニ角山東省邊リハ、私共ノ知ッテ居ル範圍ニ於テ、近頃盛ンニ人ガ殺サレテ居ルノデアリマス、而モ外務省ノ方デハ、ソレガ排日ノ關係トカ何トカ云フコトデ、現ニ刑事的ノ問題ニナッテ居ル時分ニハ、賠償金モ取ラナイコトニナッテ居ルノダ、斯ウ云フ風ナ御話デアリマシテ、實情ヲ御調べ願ヘバ直グ分リマシガ、サウ云フ狀態デアリマスカラ、輕々シク斯ウ云フ問題ヲ——滿洲國ハ別デアリマス、滿洲國ハ是ハ我國ト不可分ノ關係ニアリマスカラ當然デアリマスガ、中華民國ノ方ニ對シテハ、輕々シクサウ云フコトヲヤッテ貰ッテハ困リマスト云フ實情ノホンノ一部分ヲ申上ゲタノデアリマシテ、サウ云フヤウナモノヲ御調べ願ヘバ澤山ゴザイマスカラ、斯ウ云フ狀態デハ困ルヂヤナイカト云フコトヲ向フヘ仰シヤッテ、サウ云フコトガ、餘リ早く實現スルコトノナイヤウニ御頼ミシテ置キタイノデアリマス、外務大臣ニ御尋ヲシタイト思ヒマシタコトハ、其程度デアリマシテ、御急ギノヤウデアリマスシ、外ノ方ノ關係モゴザイマセウカラ、私ハ此位ノ所デ質問ヲ打切りマス

○渡邊(玉)委員 私ハ外務大臣ニ少シ御尋

シタイコトガアリマスガ、實ハ遽カ思付キデアリマシテ、趣旨ガ徹底シナイカモ知レマセヌガ、日濠問題ノ關係ガ來年ノ六月デ其條約ガ終ル、七月カラ更ニ日濠通商問題ノ御交渉ガナケレバナラナイト思ッテ居リマス、之ニ關シマシテ、昨年日濠通商擁護法ヲ發動サレテ、十二月三十一日デアリマスカ、解決サレタト思ッテ居リマス、併シ九月頃カラ既ニ日濠ノ關係ニ付テハ、稍、外務省ノ御意見ハ纏ッテ居ッタ、然ルニ十二月マデ三箇月間ト云フモノハ、更ニ好轉セズ、私ノ思フダケヲ申シマスナラバ、寧ロ惡イ結果ニ於テ日濠通商ハ解決サレテ、擁護法發動ガ取消サレタ、所謂傳家ノ寶刀ヲ抜イタノヲ收メル時ハ寧ロ九月デアッタト

斯様ニ思ッテ居リマスガ、是ハ商工省、サウ云フ方面トノ關係カラ外務省ノ思フヤウニ行カナカッタ結果デアッタカトモ存ジマス、若シ再ビ明年ノ六月トシタ所ガ僅カニ十四箇月シカアリマセヌ、ドンナ風ノ御用意ガアルカ、斯ウ云フ問題ニ付テ通商擁護法ハ濟ミマシタケレドモ、通商上ニ關シマシテハ大藏省トモ關係ガアリ、或ハ商工省ニモ御關係ガアリ、其兩省ノ御意見ヲ纏メテ外務省ガ御交渉ニナルウヤナ風デナイカト思ヒ

マスガ、佐藤外務大臣ノ御意見ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○佐藤國務大臣 本件ノ内容ニ付テハ實ハ

通商局長カラ御答辯申上ゲル方ガ適切ダト思フノデアリマスガ……

○渡邊(玉)委員 私ハ通商局長カラハサウ

云フコトヲ承ッタコトガアリマスケレドモ、佐藤外務大臣ニ一遍承リタイト思ヒマシタカラ、若シ御急ギノヤウデアレバ已ムヲ得スト思ヒマスガ、要スルニ今マデ斯ウ云フヤウナ通商問題ニ付テモ外交ノ一元化ガ出來テ居ナイ、私ハ只今佐藤外務大臣ハ覺エガアルカナイカ存ジマセヌケレドモ、五六年前ニ丁度私ノ地方——私ハ愛知縣デアリマスガ、御出デニナッテ、親シク郷里ノ産業ヲ御視察ニナッテ、私當時愛知縣ノ聯合會長トシテ、御案内シタノデアリマスガ、其織元ガ、今織元ダケデ五千萬圓ノ輸入量トナッタノデアリマス、併シ此日濠ノ關係ニ付キマシテハ、羊毛ガ重大デアルノミナラズ、サウ云フヤウナ一定ノ御方針ガ中々定ラズ、三月間モ愚圖々々シテ寧ロ逆轉スルヤウナ結果ニナッテハ面白クナイノデ、サウ云フ風ナ問題ニ付テ外務省ノ御取扱ガドウデアルカト云フコトノ佐藤外務大臣ノ御方針ヲ承ルコトガ出來レバ甚ダ幸ト存ジテ居

リマス

○佐藤國務大臣 只今ノ問題ニ付テ御答致

シマス、日濠間ノ交渉ニ付キマシテ寧ロ去年ノ九月ニ纏ムベキモノデアッタノデ、十二月末ニ之ヲ纏メタノハ、時期ガ遅レテ居ッテ、條件ガ其當時ハ一層惡クナッテ居ッタ、ソレハ甚ダ遺憾デアルト云フヤウナ御注意デアリマシタ、當時御存ジノ通り私ハ直接此問題ニ關係シテ居ラナカッタノデゴザイマスルケレドモ、今係官ノ説明ニ依リマスレバ、何分此問題ハ國內産業各方面ニ關係ガアル問題デアッタ爲ニ、ソレヲ主管スルフ譯デアルサウデゴザイマス、今後ソレナラバドウスルカト云フ問題ニ付キマシテハ、只今ノ御注意ガアリマシタ點ハ至極御尤デゴザイマスルガ、併ナガラ斯ウ通商問題ニ關係致シマシテハ、單ニ外務省ノ通商方針ト云フモノバカリニ依ッテ進ム譯ニモ參ラナイト思ヒマスルシ、例ヘバ御話ガアリマシタ農林省ノ關係トカ、或ハ商工省ノ關係ガアルトカ、物ニ依ッテハ大藏省ニモウ云フ方面ノ總テノ意見ヲ綜合シマシテ、サウシテ或ル一定ノ方針ヲ立テ、其方針ニ依ッテ外國トノ交渉ヲシナケレバナラスト

云フヤウナコトニナルノガ普通ダト思ヒマス、或ハ其間ニ可ナリノ時間ヲ掛ケナケレバナラナイト云フ結果ヲ生ズルカモ知レマセヌノデアリマスルガ、併シ私ハソレガ通商上ニ於ケル外交ノ一元化ヲ妨害スルモノデナクシテ、纏ッテ意見ヲ以テ外ニ當ルト云フノガ、即チ外交ノ一元化デ、ソコニ所謂一元化ガアルト思フノデアリマシテ、纏ッテ方針ヲ立テルマデニハ、各方面ノ意見ヲ徴シ、意見ヲ戰ハシ、之ヲ綜合シタモノニ依ッテ、初メテ一元化ノ資料トナルベキ一國ノ通商上ノ方針ガ決マルノダト思フノデアリマス、サウ云フ風ニシナケレバ私ハ日本全體ヲ纏メタ方針ハ立テ得ナイト思フノデゴザリマス、今後トモ私ハ成ベク廣ク關係方面ノ意見ヲ徴シ、お互ニ意見ヲ交換スル機會ヲ作りタイト思フノデゴザリマス、一旦方針ガ決マリマシタナラバ、而シテ其方針ハ特定ノ問題ニ關シマシテハ、成ベク早く決メナケレバナラヌト思フノデゴザリマスルガ、一旦定マッタ方針ガ立チマシタナラバ、ソレヲ善用シテ所謂一元化ノ形式ノ下ニ之ヲ實行スルト云フ風ニヤッテ行キタイト思ヒマス、又一定ノ方針ヲ立デマスル爲ニモ、餘リ長イ時間ヲソレニ費シマシテ、而シテ交渉ノ時機ヲ失スルコトガナイ

ヤウニ、十分氣ヲ付ケナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○渡邊(玉)委員 只今外務大臣ノ御言葉ノ通り、ソレハ各省ノ關係ノ衆智ヲ集メテ善處シテ載クト云フコトハ當然デアリマスケレドモ、今申シマシタ問題ハ來年ノ七月デアリ、過去ノヤウナコトカラ言ヒマス、

洵ニ心配ニ堪ヘナイ、其衆智ヲ集メテ一定ノ方針ヲ御定メニナルノニ在リ過ギテ、遂ニ其時ニナッテ、内ニ在ッテハ國內産業ヲ阻碍スルヤウナ結果ニナルコトヲ心配致シマシテ申上ゲタコトデアリマス、其事實ハ昨年ノ年末ニ解決シタ爲ニ、非常ナ迷惑ヲシ、又産業上ニ於テモ非常ナ支障ヲ生ジタ、是ハ外務省ノ直接關係デハアリマセヌガ、一例ヲ申シマス、餘リ遅クナッテ「シーズン」ガ過ギタ爲ニ、小キイ紡績會社ナドハ割當ガナクテ困ッテ居ル、無理ニ割當ヲシタケレドモ、大キナ工場ハドレダケデモ應用ガ出來ルガ、小サイ工場ハ自分ノ特徵ノアルモノガ來ナケレバイケナイノデ、割當セラレタ毛ハ自分ノ工場ニハ要ラナイ、便フコトガ出來ナイ、工場ハ其原毛ガ欲シクテ手ヲ出ス位ニシテ得タケレドモ、自分ノ目的ノ絲ハ出來ナイ、爲ニ其原毛ヲ他ニ轉賣シナケレバナラヌト云フコトガ、

今日ノ小紡績ノ實情デアアルノデアリマス、ソレハ斯ウ云フコトガ遅レテ參ッテ「シーズン」ガ過ギテ參ッタト云フ結果デアリマスカラ、勿論各省ノ關係ノ衆智ヲ御集メニナルコトハ宜イケレドモ、拙速ガ宜イトハ申シマセヌ、十分ナ各材料ヲ御集メニナッテ、サウシテ早くカラ御方針ヲ御定メニナッテ善處セラレンコトヲ望ンデ置キマス、但シ是ハ御答辯ヲ要求致シマセヌ

○佐藤委員長代理 片山君

○片山委員 一寸外務省ノ政府委員ニ御尋シタイノデスガ、中華民國ニ於ケル日本人關係ノ裁判ノ場合デアリマス、アレハ中華民國ノ土地ノ權利ニ關係スル場合ハ、確カ特殊ノ規定ガアッタヤウニ記憶シテ居リマスガ、ドウナッテ居リマスカ

○森島政府委員 多分上海ノ共同租界ヤ何カノ問題ニ付キマシテハ、特殊ノ規定ガアッタト記憶致シテ居リマス、一般日本人間ノハ日本人ノ領事館内ニアリマスル司法領事ノ手ニ依ッテ管轄サレテ居ルト存ジテ居リマス

○片山委員 土地モサウデゴザイマスカ

○森島政府委員 土地モ同様ト存ジマス

○片山委員 其場合ニ於キマシテ、領事ノ適用スル法規ハ何ヲ使ッテ居ルノデスカ

○森島政府委員 向フノ慣習デアルトカ何カニ準ジテ、裁判ヲヤッテ居ルト存ジテ居リマス

○片山委員 サウ致シマス、詰リ土地ニ關シテハ中華民國ノ慣習法及ビ成文法ヲ適用シテ居ルト云フコトニナリマスカ

○森島政府委員 ソレヲ日本ノ法規トシテ適用シテ居ルト解釋致シマス

○片山委員 滿洲國ノ問題ニ又戻ッテ來マス、先刻ノ御答辯ニ依リマス、物權ニ關スル限り、日本人ガ彼地ニ住マッテ、動産不動産ノ取引ヲシテモ、不都合ノナイヤウニ規定ガ出來テ居ルト云フ御話デアリマシタガ、支那法制ニ依リマスレバ、土地ノ權利ノ一番大キナモノハ典、胎、贖耕ト云フコトニナッテ居リマス、此支那法制ノ典權、胎權、贖耕權ト云フモノハ、ヤハリ滿洲國ニ於テモ現時認メラレテ居リ、生キタ法律デアリ、而シテ是ガ裁判所ニ於テ適用サレテ居ルノデアリマセウカ、今外務省ノ政府委員ノ御話ニ依リマスレバ、南支那ニ於テハサウ云フコトニナッテ居ルト言ヒマスガ、ソレト違ッテ取扱ガ出來テ居リマスカ否カ、其點ヲハッキリ承リタイノデス

○森島政府委員 ソレハ取調ノ上御答辯致スコトニ致シマス、ソレカラ先程私言葉ガ

足リナカッタカト存ジマスガ、日本ノ法規デ適用シ得ルモノハ無論適用シマスシ、ソレデ以テ適用ノ出来ヌ場合ニハ、支那ノ慣習法ナドヲ併セテ居ルト存ジテ居リマス

○片山委員 日本ノ法規ヲ中華民國ノ物權ノ規定トシテ適用サレテ居ルト云ヒマス、實際ノ問題トシテ、サウ云フ規定ガアリマス

○森島政府委員 租界内ノ土地ノ如キハ多分サウ云フ風ニ取扱フテ居ルト存ジマス

○片山委員 租界内ノコトデナク、一般的ニ租界外ニ於テハ如何デス

○森島政府委員 司法ノ詳細ナ點ハ私ヨリ御答致シマシテ誤リガ出来ルトイカスト思ヒマスカラ、何レ詳細取調ベタ上デ、確定的ナ御返事ヲ致シマス

○片山委員 私ハ滿洲ノ治外法權ノ問題ヲ承リマス上ニ於キマシテ、滿洲ニ於ケル法制、滿洲ニ於ケル民事法規及ビ刑事法規ガ、日本人タル吾々ヲ支配シテ吾々ガ不便ヲ感ゼザル程度ニ發達シテ居ルカドウカ、ソレカラ之ヲ裏カラ申シマス、日本ノ法律デアレバ吾々ハ非常ニ便利デアリマスルガ、サウ云フ法規ヲ直チニ滿洲ニ適用シテ、滿洲三千萬ノ民族ハ果シテ満足スルカドウカ、斯ウ云フ點ヲ私ハ質問スルノデアリ

マス、就キマシテ御取調ニナッテ御答ニナラネバナラスト云フ點ガ、私ノ是カラ質問ヲ更ニ續ケテ行キマスル根據ニナリマスノデ、此點ガ御分リニナラザル限り、私ノ質問ノ進行ガ出来マセヌカラ、是デ留保致シテ置キマシテ、次ノ機會ニ質問スルコトニ致シタイト思ヒマス

○小谷委員 此間森島サンカラ承リマシタ問題、少シ喰ヒ違ッテ御答辯デヤナカッタカト思フノデゴザイマスガ、外務省ノ方ニモ此書類ガ出テ居ル筈デアリマスガ、青島ノ小學校長四人ノ連名デ來テ居ル書類ガアルノデアリマス、短カウゴザイマスカラ一寸

讀ンデ見マス「在外指定學校小學校教育職員ノ國庫納金ハ昭和九年三月迄其ノ義務ナカリシニ關ラズ恩給法第五十九條ニ對スル恩給局ノ解釋ニヨリ「昭和九年以前ニ於テモ百分ノ一ノ納金ヲナスベキモノナリシヲ以テ昭和九年以後ハ百分ノ二ヲ納ムベキモノト解セラル」トノ通牒ニ接シ申シ候、若シ右ノ如ク解釋スル場合ニ於テ吾等ニ朝鮮・臺灣・樺太等ノ小學校教育職員ト同等ノ義務ヲ負擔セシメラル、事ト相成申候尤モ此ノ三地方ノ教育職員ハ文官ニシテ且ツ恩給年限加算ノ特典ヲ受ケ居リ候ニ付百分ノ二ノ納金ハ妥當ト存ゼラレ候モ、吾等在外

指定學校教育職員ハ右ノ地方以上ニ精神的物質的ニ生活ノ不安ヲ感ジ乍ラ恩給年限加算ノ特典ナク且又文官ニモ非ズ待遇官ニシテ全ク内地ノ小學校教育職員ト同等ノ待遇ニ在リ而シテ義務ノミ特典多キ地方ノ教育職員ト等シク負擔セシメラル、ハ眞ニ不公平ナリト存ジ申候尙外務省ニ於テモ警察官ハ恩給法第五十九條ノ但書ニ依リ内地ノ警察官ト同様百分ノ一ヲ納金致シ居リ候」斯ウ言フテ來テ居ルノデアリマス、是モ即座ニ御答ガ出来ナケレバ、御取調ヲ願ヒマシテ御答ヲ願ヒマス

○森島政府委員 取調ノ上御答致シマス

○小谷委員 ソレカラ尼港事件ト支那ノ方面デ災厄ニ遭ヒマシタ者ノ賠償ヲ外務省カラ出シテ貰フコトニナッテ、段々支給ヲ受ケテ居ルヤウデゴザイマスガ、ドノ程度マデ今支給セラレテ居リマス

○森島政府委員 只今御尋ノ尼港事件ノ方ハ既ニ完了致シマシテ、滿洲、上海等ノ事件ニ關聯致シマスル分ハ、既ニ審査委員會ニ於テ決定致シマシテ、來年度勿々實行ノ運びニ掛カルコトニ相成ッテ居リマス

○小谷委員 私モ是デ終リマス

○佐藤委員長代理 大藏大臣ガオ見エニナリマシタガ、此際簡單ナ御質疑ガアレバ御

許シテ致シマス

○塚本委員 此機會ニ大藏大臣ニ質問シタイト思ヒマス

○佐藤委員長代理 塚本君

○塚本委員 是ハ他ノ委員會デ實ハ御伺シタイト考ヘテ居リマシタガ、材料ハ控室ニ置イテアルノデ持ッテ居リマセヌガ、最近自然增收ガ豫算ニ澤山見込マレテ居ル、サウ云フコトカラトモスルト一般稅務監督局ノ査定ガ非常ニ嚴格ニナッテ來ルト云フ傾向ガ多分ニ窺ハレル、サウ云フコトカラ來ル苛斂誅求ト言ヒマスガ、サウ云フコトガ段々多クナッテ來ル傾向ガアリ、甚ダ遺憾ト思ヒマス、ソレト同時ニ又税金ノ取立方ト云フモノガ非常ニ嚴格ニナッテ居ル、例ヘバ小サイ問題ニシマスルト、地方稅ノ雜種稅ノ車稅ノ如キモノヲ滯納致シマシタ場合ニ於キマシテモ、之ニ對スル處分ノ方法ト云フモノハ、是マデニ比ベレバ、極メテ嚴格ニナリ、數年前ノコトデアリマシテ、モウ既ニ適當ナ處分ガ終ッテ居ルカト思ッテ居ルモノガ、最近ニナッテソレヲ帳面上整理スルコトノ爲ニ、強制處分ガビシ／＼行ハレルト云フヤウナコトガ非常ニ澤山アルヤウデアリマス、サウシテ帳面ノ上ヲ御整理ニナルコトハ必要デアリマセウガ、トモスルト餘リニヒドイ

強制處分ガアルト云フ傾向モ亦アルノデアリマス

〔佐藤委員長代理退席、委員長著席〕

是カラ申上ゲルコトハ大藏省關係デナク、内務省ノ健康保険課ノ掛リダト言ハレ、バソレ迄デアリマスガ、先年大阪ニ於キマシテ、健康保険料ヲ最初四圓何ボデアツカカ滞納シタ、其時ニ機械ヲ差押ヘル、ソレデ慌テ、強制處分ニナル十日程前ニ納メタ、越エテ又十五圓何ガシノ滞納ガ出來タ、スルト其事ノ爲ニ千何百圓ノ印刷機械ヲ差押サレテシマツタト云フコトガアリマシテ、ソレヲ競賣ニ付サレテ、ソレヲ又競賣價格ニ相當大キナ金ヲ附ケテ其機械ヲ質戻シタト云フヤウナコトガアリマシタ、同ジ男ガ次ニ又滞納ガ出來タト云フコトノ爲ニ、今度ハ親譲リノ金時計ヲ差押ヘラレタト云フコトガアリマシテ、サウ云フ重ネノノ強制處分ニ會ッテ——勿論健康保険ノ積立金ノ如キハ、唯事業主ダケノ掛金デナク、其中ニハ勞働者自身ノ掛金モ含マレテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ性質ノ金ヲ滞納スルト云フコト自體ガ宜クナイト云フコトハ、是ハ言フ迄モナイコトデアリマス、ソレヲ滞納ガアツカカト云ッテ、其滞納額ニ比ベテ餘リニモ高額ナ物ヲ差押ヘタ、殊ニ

印刷屋デアリマスガ、印刷機械ヲ差押ヘサレ、バ、職業ガ出來ナクナルノデ、營業者ガ營業ガ出來ナイバカリデナク、ソレニ從事シテ居リマス所ノ勞働者自身ガ仕事ガ出來ナクナルカラ、是ハ直接生活ノ物件ヲ奪ハレルコトニナリマス、ソレモ今申スヤウニ、僅カ十五圓位ノ滞納ニ對シテ、千五百圓ノ機械ヲ差押ヘルト云フヤウナコトガアツテ、終ニ此男ハ大阪ノ健康保険課ノ泉尾出張所ノ所長以下四人ノ者ヲ殺傷致シマシテ、自ラモ自殺ヲ企テタノデゴザイマス、非常ナ重大ナ事件ヲ惹起シタノデアリマス、是ハ一ツノ實例デスガ、サウ云フヤウナコトガ健康保険ノコトニ付キマシテモ其他ニモ澤山サウ云フ事件ガアルノデアリマスガ、事件ニ鑑ミマシテ、大藏省ニ於カレマシテ是非滞納處分ニ對シマスル場合ニ、斯ノ如キ苛酷ナ手段ニ出ナイコトノヤウニ望マザルヲ得ナイノデスガ、之ニ對シテ何カ、勿論是ハ強制處分ヲ行ヒマス時ニ、細カイソレノノ規定ガアル譯デアリマシテ、取扱ヒマスル者トシマシテハ、其規定ヲ無視致シマシテ、サウ云フヤウナ亂暴ナ非常識ナコトヲヤル者ガアレバ甚ダ遺憾デスガ、此點ニ付キマシテ、今後サウ云フコトノ重ネテ起ラナイヤウニ、御注意ヲシテ

戴カネバナラスト思ヒマス、サウ云フコトニ付キマシテ、何カ大藏大臣ハ御考ガアリマスカ、一言承ッテ置キタイ

○結城國務大臣 租税増徴法案ニモ附帶決

議ノ一項トシテ、苛察ノナイヤウニト云フヤウナコトガ出テ居リマス、來月早々ニハ稅務官吏ヲ集メマシテ、其邊ノコトニ付テ十分ニ訓示ヲ與ヘ、心得ヲサセル積リデ居リマス、併シ多數ノ官吏ノ中ニハ行過ギタコトモ或ハアルカモ知レマセヌ、是ハ御氣付ニナリマシタナラバ、十分ニ私共ノ方ニ御知ラセテ願ヒタイと思ヒマス、又納稅者ノ方ニ於テモ、隠ストカ、遁レルトカ云フヤウナ氣持デナシニ、斯ウ云フ大切ナ時ニ、御互ニ國費ノ一部分ヲ捧ゲテ奉公ラスルノダト云フヤウナ氣持ニ燃ヘテ戴クヤウニ、私共モ努メル積リデアリマスガ、國民ヲ代表シテ居ラレマスアナタ方ノ方ニ於テモ、サウ云フコトノ御指導ヲ爲サッテ下サルヤウニ、此機會ニ御願スル次第デアリマス

○塚本委員 今最後ノ大藏大臣ノ御言葉ノヤウニ、私ハ此事件ガアリマシタ場合ニ、此事件ヲ取扱ヒマス場合ニ於キマシテモ、國民ノ納稅ニ對スル觀念ヲ傷ツケルヤウナコトガアツテハナラスト考ヘマシテ、非常ニ私ハ慎重ニ取扱ウタノデアリマス、ソレカ

ラ數日經チマシテ、内務省ノ社會局長官ニ會ヒマシタ時ニ、ドウモ此事件ノ裏ニハ、差押ヲ致シマスル者ト、之ヲ競賣スルコトヲ以テ自分ノ職業トシテ居ル者トノ間ニ、何カ不正ノヤウナ事件ガ伏在シテ居ルノデハナイカト云フコトノ心配ヲ持ッテ居ルノダガ、ト云フ話ヲ致シマシタガ、併シ全クサウ云フコトハアルマイト云フ當時ノ御話デアリマシタガ、事實ハ數日後ニ於テ、ソレガ事實ニナッテ現レテ參リマシテ、故ラニ此滞納料金ニ比ベテ高額ナ品物ヲ差押ワスルト云フ裏面ニ、果シテ競賣等ヲ職業トスル者トノ間ニ不正ナ事件ガアツタコトガ暴露シマシテ、ソレノハ是ハ檢舉ヲ見テ居ルノデアリマスガ、健康保険課ニ屬スル者ニ致シマシテモ、數名ノ者ガ引致サレマシタシ、又競賣業者ノ間カラモ澤山引致セラレタ、サウ云フコトガ非常ニ多ク地方ニ於キマシテモ蔓延ッテ居ルノデハナイカト云フコトガ窺ハレルノデス、サウ云フ一ツノ事件ガ起リマス、ソレカラ芋蔓ノニ多數ノ者ガ皆ソレノ大ナリ小ナリ、醜惡ナル所ノ誼ヲ結ンデ居ッタト云フコトガ暴露セラレテ參ル、非常ニ恐ルベキコトデアルト思ッテ居リマス、此點ニ付テモ御注意ヲ致サレマス時ニ、併セ御考ニナリマシテ、十分ニ

御訓戒ニナルヤウニ御願致シマス

○田川委員

私ハ爲替ノコトヲ憂ヘ、及ビ

公債消化ノコトヲ憂ヘルモノデアリマス、

大臣ハ左程心配ヲ要セナイカノヤウニ仰セ

ニナリマスケレドモ、成ベク仰セ通りニ、

自分ノ憂ガ杞人ノ憂ニ過ギナイヤウニナル

コトヲ希ヒツ、マダ憂ヲ取拂フコトガ出来

ズニ居ルノデアリマス、サウ云フ立場カラ

御尋致シマスガ、第一ニ愛國公債ヲ發行シ

テ軍事公共ノ資ニ充テラレルヤウナ御用意

ハアリマスカ、アリマセヌカ、第二ニハ近ク

爲替平衡資金、或ハ爲替調整資金ト云フヤ

ウナ計畫ヲ立テラレル御考ガアリマセウ

カ、アリマセヌカ、第三ト致シマシテハ、減

債資金ニ對スル大臣ノ御説明ハ、サウ明確

デナカッタヤウニ感ジマスガ、其減債計畫ニ

對シテ何等カ近ク新ナル御提案ガアラレ

ルデアリマセウカ、其三點ニ付テ伺ヒタイ

○結城國務大臣 愛國公債トカ、近頃佛蘭

西デハ國防公債ヲ出シマシテ、大變ニ賣行

ガ好カッタヤウデアリマスルガ、コチラデハ

ソコ迄準戰時氣分ト申シマスカ、餘リニ非

常時ヲ考ヘサセルヤウナコトハ、ドウモ考

ヘモノデヤナイカ、ツイ愛國公債ト申シマ

スト、サウ云フコトヲ考ヘ、又普通ノ公債ノ

發行ガムヅカシクナッタカラ、サウ云フコ

トニ依ッテ愛國公債ヲ發行スルノデヤナイ

カ、斯ウ云フヤウニ考ヘラレルコトガアッ

テハナラヌト思ヒマスノデ、只今ノ所ハ

サウ云フ公債ヲ發行スルコトヲ考ヘテ

居リマセヌ、ソレカラ爲替平衡資金デ

アリマスガ、是ハマア歐羅巴ノヤウニ

直グ近イ所デ金ガ流レテ行ク、ソコニ

爲替ノ協定ヲヤリマスツカ、或ハ相互

ノ間ニ援助ヲ致シマスツカ云フヤウナ

コトデモアリ、密接ノ度合ガ向フノヤウデ

アリマスツ、ヤハリ爲替平衡資金ト云フヤ

ウナモノヲ考ヘナケレバナラヌカトモ思フ

ノデアリマスルガ、我國ト致シマシテハ、

多少離レテ居ル關係モアリマセウシ、其邊

ノ國際貸借ノ工合ハ餘程違ッテ居リマシテ、

思惑トカ爲替「スベキユレ」シヨシニ

依ッテ正貨ガ流レテ行ク、國際貸借ガ變化ヲ

來スト云フヤウナコトハ少イノデアリマス、

ヤハリ貿易尻ト云フモノヲ考ヘ、貿易以外

ノ受取、支拂勘定ノ殘ヲ考ヘテ、サウシテ其

尻ヲ決濟スル爲ニハ、ドウシタラ宜イカト

云フコトヲ考ヘテ行ケバ、只今ハ其以外ニ

思惑トカ其他ニ依ッテ處置ヲシナケレバナ

ラヌコトハ餘程少ナイノデアリマス、唯輸

入ノ點ニナリマスルト、昨年ノ暮カラ色々

ナ思惑輸入ガ殺到致シマシテ、是ハ種々ナ

ル原因カラ來テ居ル、國內ノ事情モアリマ

セウシ、其品物ニ對スル將來ノ見透シト云

フヤウナ點カラモアルダラウト思ヒマス

ガ、サウ云フ色々ナ事情カラ思惑ガ起リマ

シテ、一時ニ輸入ガ殺到致シマシタ爲ニ、

爲替相場モ動搖シ掛ッテ來マシテ、サウシテ

其邊ノ管理、許可制ヲ布カナケレバナラヌ

ヤウニ自ラナッタノデアリマスルガ、是モ爲

替平衡資金ト云フヤウナコトニ依ッテ、直グ

ニ救ハレル譯デモアリマセヌシ、ドウモ日

本トシテハ、此爲替平衡資金ト云フコトヲ

英佛米ナドガ考ヘテ居ル程必要トシナイデ

ヤナイカト、私今斯ウ云フ風ナ氣持デアリ

マス、ソレカラ減債基金ノコトニ付キマシ

テハ、只今ノ歲計ノ狀況カラ申シマスツ、

減債基金ヲ設クル爲ニ、更ニ公債ヲ發行シ

ナケレバナラナイヤウナ詰ッテ居ル狀況デ

アリマスルカラ、只今ハサウ云フヤウナコ

トヲスル必要モナカラウト思フノデアリマ

ス、併シ將來公債ノ信用ヲ維持シテ行ク上

ニ於キマシテ、出來マスナラバ、公債發行

額ヲ減ジテサウシテ幾分デモ年々減債基金

ノヤウナモノヲ置イテ、償還ノ資金ヲ拵ヘ

テ行ク、サウシテ漸次ニ其方法ニ依ッテ非

常ナ事ガ起ラヌ以上ニ於テハ、平年デアル

ナラバ、幾ラカヅツデモ償還ヲシテ行クコ

トガ出來ルト云フヤウナ方法ヲ考ヘル必要

ハアラウト思ヒマスガ、只今ノ歲計ノ狀況

カラ申シマスツ、形ニ於テサウ云フモノヲ

作リマシテモ、實質ニ於テハ其爲ニ公債ヲ

出シテ借金ヲシナケレバナラヌヤウナ事情

ニアル爲ニ、今直チニ減債基金ヲ設ケルト

云フコトモ必要デナカラウト、斯ウ考ヘテ

居ル次第デアリマス

○田川委員 日本ノ爲替關係ガ英米佛等ノ

爲替關係ト趣ヲ異ニシテ居ル事情ハ御説ノ

通りデアリマス、或ハ御説ヲ俟タズシテ恐ラ

ク誰シモ諒解シテ居ルコトデアラウラウト

思ヒマス、サウ考ヘナガラ、英米佛ノ間ニ於

ケル爲替協定ガ成立ッテ居リマス、ソレ等ニ

加入セラル、ト云フ御考ハナイノデセウカ

○結城國務大臣 三國ノ爲替協定、是ハ色

色必要ガアッテ起ッタラウト思ッテ居リマス

ガ、是ハ三國ノ間ニ於テハ必要デアラウト思

フノデアリマスルガ、我國トシテソレニ參加

スル必要ハ只今ハナカラウト思ヒマス、併シ

ソレ等ノ國ガ主トナッテ、通貨問題其他ニ付

テ日本ノ協力參加ヲ求ムルト云フヤウナ時

ノ來ルコトノ速カナルコトヲ期待シテ居ル

次第デアリマスルガ、サウ云フ場合ニハ十

分考ヘテ參加スベキデアラウト思フノデア

リマスルガ、只今ノ三國爲替協定ニハ日本

トシテ參加スル必要ハナカラウト思ヒマス

○田川委員 先達大臣ノ御出デナカッタ場

合ニモ其コトヲ問ウテ見タノデアリマス
ガ、アノ英米佛ノ間ニ協定ノ成立チマス際
ニハ、日本ハ誘ハレタ譯デハナカッタデセウ
カ、ソレガ一つノ問デアリマス、只今ノ御
説明ニ對シテ、サウ云フ問ガ自然ニ起ッテ來
ル譯デアリマス、ソレト私モウ一つ御考ヲ
伺ッテ見タイト思ヒマスノハ、日本ノ國債ト
地方債トノ關係デアリマス、私ハ地方債ヲ
國債ノ中ニ取入レテ御發行ニナッテ、地方ノ
必要ニ頒チ應ゼラレルコトニナリマシタナ
ラバ、市場ノ狀況ハ幾分カ有利ニナルノデ
アラウト思ウテ居リマス、今ノ國債ノ多ク
ハ日本銀行デ賄ハレルト云フ傾向ノ爲ニ、
其狀況ガ數年以前ト今日トハ稍、變ジテ居
ルト思ハレマスケレドモ、ソレニ拘ラズ若
シ政府ガサウ云フ方針ヲ御立デニナリマス
ナラバ、地方ハ政府ニ御相談ヲ申上ゲテ、
發行ノ時期、發行ノ形式、及ビサウ云フ計
畫ヲ地方ニ於テ立デマスル上ニ於テ、多大
ノ影響ガアルデアラウト思ヒマスガ、サウ
云フ考ヘ方ハ間違ッテ居リマセウカ、又サウ
云フ考ヘ方モ政府ノ御考ノ一部ニハ存スル
譯デアリマセウカ

○結城國務大臣 三國協定ノ時ニ誘ヒニ來

タト云フコトハ私ハ聞キマセヌ、ナカッタサ
ウデアリマス、ソレカラ國債ト地方債ニ付
テノ御意見デアリマスルガ、皆國債ニ致シ
マシテ、地方ノ要スルモノヲ國カラ貸シテ
ヤルト云フヤウナコトモ、條件其他ノ上ニ
於テハ有利ナ點モアラウト思フノデアリマ
スルガ、國債ノ増加ガ愈々莫大ニナル點モ
考ヘナクチヤナリマセヌシ、又地方府縣其
他ニ於テ計畫ヲ立テ、其元利ノ償還ニ付
テ責任ヲ持タスト云フヤウナコトカラ、國
ガ監督ヲシテ行クノデアリマスガ、ヤハリ
自分デ處理ヲサスヤウナコトニ仕向ケテ
行ッタ方ガ、地方自治ノ上カラ言ッテモ宜イ
ノデヤナイカトモ考ヘラレルノデアリマス、
ソレカラ市場カラ申シマス、ヤハリ國債
ト地方債ト云フヤウナモノガ自ラ或ル利廻
リノ開キヲ以テ相互流通シテ居ルコトハ、
色々ナ點ニ於テ便宜ガアルノデアリマス、
唯地方債ノ發行ニ付キマシテハ、從來甚ダ
統制ヲ缺イテ居リマシテ、競争ノ結果面白
クナイコトモ起ッたり、奪ヒ合ヒラ致シマス
トカ、色々ナコトガアリマシタノデ、昨年
カラ其邊ノ統制ノコトヲ考ヘマシテ、今ハ
大藏省ニ於テ、信託會社其他ヲ糾合致シマ
シテ、サウシテ地方債ノ發行ニ付テノ統制
ガ漸次取レルヤウニ、ソレノ手配ヲシテ

居ルヤウデアリマシテ、ソレガ旨ク取レマ
スト、ヤハリ地方債ハ地方債トシテ置イタ
方ガ、却テ色々ナ點カラ便宜デヤナカラウ
カ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○木暮委員長 宜シウゴザイマスカ——松
山君

○松山委員 公債ノ取扱ニ付キマシテ、大
藏大臣ノ御意見ヲ伺ッテ見タイノデアリマ
ス、今田川君ノ御質問ニ、地方債ト云フモ
ノヲ公債ノ中ニ取入レタラドウカト云フヤ
ウナ御意見モアリマシタ、サウ云フヤウナ
コトモ、私共考ヘテ居ルノデアリマスガ、
尙ホ公債ノ中ニ私共ハ之ヲ生産公債ト名ヅ
ケタイ——今マデ名ヅケテ論議ヲシテ居ル
ノデスガ、例ヘバ鐵道事業ニ使ッタ金——
來年政府ハ電氣事業ノ國營案ヲ次ノ議會ニ
出スト云フコトガ新聞ニ出テ居リマスガ、
サウ云フコトニ使フ金、是ガ若シ民有國營
ト云フコトニナレバサウハナリマセヌガ、
私共ノ考トシテハ本當ニ電氣事業ト云フモ
ノヲ一般ノ國民ノ利益ノ爲ニスルト云フナ
ラ、ドウシテモ國有國營デナケレバナラ
ヌ、斯様ニ私共ハ考ヘテ居ル、例ヘバ茲ニ
二分五厘ノ金利ノ開キガアリト致シマスレ
バ、「キロワット」ニ付キ私共ノ計算デハ
六厘一毛違フト思フ、例ヘバ之ヲ疏安ノ生

産ニ使フ場合ニ、四千「キロ」使フトシテ、
一廬ノ疏安ノ生産ニ付テ、生産費ガ二十四
圓違ッテ來ル、「アルミニウム」ニ二萬「キロ」
ノ電氣ヲ使フト致シマスレバ、一廬ニ付テ
百八十圓生産費ガ違フ、斯ウ云フヤウナコ
トニナルノデアリマシテ、私共ガ此意味カ
ラ言ウテモ、ドウシテモ是ハ國營デナクチ
ヤナラヌ、ソレカラ將來電氣ノ使用量ガ非
常ニ増ス、電氣ノ値段モ下ゲナクチヤナラ
ヌシ、色々ノ意味ニ於テ電氣ノ使用量ガ増
ス、ソレヲ利用スルコトニ於テ、之ヲ民有
或ハ民營ト云フヤウナ現在ノ狀態ニ置イテ
ハ、此電氣ノ資源ヲ十分ニ利用スルコトハ
出來ナイト云フヤウナコトカラ、私共ハ
國有國營ト云フコトニ行キタイト思フ、
サウナルト 此事業公債ノヤウナモノ、又
將來是カラ殖エテ來ル 建設費ノ爲ノ公債
ト云フヤウナモノハ、非常ニ大キナモノ
ニナッテ來ル、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘ
マシテ、普通ノ公債ト今申シタヤウナ事業
ノ公債、即チ其事業ノ公債デアルナラバ、
利子モ元金ノ銷却モ皆其事業カラ生シテ來
ル所ノ利益デ之ヲ計算スルノデアッテ、國
民ノ負擔ニハ少シモ掛ッテ來ルモノデハナ
イ、サウ云フモノト國民ガ之ヲ負擔シナケ
レバナラヌ性質ノモノトヲ分ケルト云フコ

トニスルナラバ、國民ハ感ジガ非常ニ違フ
デヤナイカ、或時ニハ、選舉ノ時ニ何カ頻
ニソレヲ宣傳セラレタコトガアル、日本國
民一人オギヤアト生レタラドレダケノ負擔
ヲシテ居ルカ、公債ノ總額ヲ人口デ之ヲ割
リマシテ、サウ云フコトヲ演說シテ廻ラレ
タ、此位世間ヲ陰鬱ニスルモノハナイ、私
共ノ考ヘデハ今申シマサウナ生産公債デ
アルナラバ百億ニナッテモ、一二百億ニナッ
テモ、ソシナコトハ構ハナイ、ソレダカラ普
通ノ他ノ公債ト此種ノ公債トヲ、名前ヲ分
ケテ區別スルト云フコトガ、色々ノ意味ニ
於テ必要デヤナカラウカ、斯ウ云フヤウニ
私共ハ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、サウ
云フコトニ付テ、大藏大臣ノ御意見ヲ伺ヒ
タイト思フノデアリマス

○結城國務大臣 只今ノ所デハ自ラサウ云
フ區別ガアルヤウデアリマスガ、又國トシ
テハサウ云フ區別ナシニ行クベキモノゾヤ
ナカラウカト、斯ウ考ヘテ居ッテ、是ハ生産
ノ方ニ使フ公債デアルカラト云フコトデ、
ソレガ條件ガ違ッテ來ルトカ、信用ガ違ッ
テ來ルトカ言ッテ行クト、赤字公債ト云
フヤウナ或ハ國民ノ負擔ニ期スルヤウナ
公債ハ應募者モナイトカ、或ハ値段モ下
ルトカ云フヤウナ結果ヲ來スコトニナルノ

デヤナイカト私ハ思ヒマスガ、ソコハヤハ
リ國ノ公債トシテ同ジヤウニ責任ヲ執ル、
年限ソレカラ其起債ノ目的ニ付イテハソレ
ゾレ違ッテ居ルコトハ公債ニ依テ判ッテ居
ルノデアリマスカラ、ソレ等ヲ承知シテ、
サウシテ國トシテハ一樣ニ扱ッテ行クト云
フコトガ本當デヤナイカト考ヘラレマス

○松山委員 私ハ產金政策ニ付テ御尋シタ
イコトガアル、是ハ金買入法案ガ別ノ機會
ニ於テアル譯デスカラ、大藏大臣ニ對スル
質問ハ後廻シニ致シタイト思ヒマスガ……

○木暮委員長 松山君ニ申上ゲマスガ、御
承知ノ通り議案ガ兩院ニ輻輳シテ、委員會、
本會議ガ一齊ニ開カレテ居リマスカラ、大
藏大臣ガ御出デニナッタ時ニ御質問ヲ願ヒ
タイト思ヒマス、明日嵐ガアルカモ分リマ
セスカラ、今日ノ中ニ花ヲ見テ置ク積リデ
ヤッテ戴カスト……

○松山委員 承知シマシタ、私ハ金買入値
段ニ付テ伺ヒタイトデスカ、陸軍省ガ是ダ
ケ國防ニ熱心ナノニ、ドウシテ金ヲ集積ノ
政策ヲ執ラナイカ、モット金ヲ集メル政策ヲ
執ラナイカト不思議ニ思ヒマス、戰爭ノ準
備トシテモ、准戰時狀態ト云フ馬場前大藏
大臣ノ御考ヲ見テモサウ思フ、非常ニ國防
計畫ニ付テハ熱心デアルニ拘ラズ、准戰時

狀態ト云フ言葉マデ拵ヘテ熱心デアルガ、
戰爭ノ用意ヲスルナラバモット金ヲ貯藏ス
ルコトヲドウシテヤラナイノカ、陸軍省ハ
アレダケ推進力ト云フヤウナコトヲ喧シク
言ッテ居ルノニ、之ヲ熱心ニヤラナイカト云
フコトヲ怪シデ居ル、其一ツト致シマシテ產
金獎勵ヲスル、伊太利ニ於テハ「ムッソリー
ニ」ガ「エチオピア」戰爭ガ始マル前ニハ一
匁十三圓五十錢デ買上ゲタノヲ、十六圓五
十錢ニ引上ゲタト云フコトガ新聞ニ載ッテ
居リマシタ、併シ伊太利ニハ金ハ產シナイ、
外國カラ買集メナケレバナラス、幸ニシテ
日本ハ金ヲ產スル、朝鮮ノ如キハ施スニ手
段ヲ以テスルナラバ、相當ノ金額ニ上ルデ
ハナイカト思フ、然ルニ馬場大藏大臣モ相
當ヤッタ、十一圓五十六錢ヲ十三圓十二錢五
厘マデ引上ゲタ、倫敦ノ金相場、十二月二
十日ノ相場デスカ、十四圓七十一錢——今
日ハドウナッテ居ルカ大キナ相違ハナカラ
ウト思フ、日本ハ金ヲ集メルノデアルカラ
ソレニ加ヘルコト運賃、諸掛り、保險料ト
云フモノハ、大體五十錢位ニナルデアラウ
ト云フ大藏次官ノ御話デアリマスガ、私共
モ其位ニ諒承致シテ居リマスガ、ソレヲ加
ヘタモノニナルト云フコトガ合理的デハナ
イカト思フ、ソレヲ今日十三圓十二錢五厘

ト云フヤウナ金額ニシテ居ル、上海ニ持ッテ
行ケバ英國ノ金相場ノ割合デ賣買ガ出來
ル、ソレヲ朝鮮内ニ於テハ十三圓十二錢五
厘ニシカ買ハレヌト云フノデ、密輸出ヲス
ル者ガ多クナルノデアアル、是ハ大藏大臣御
承知カドウカ知レマセヌガ、新義州ニハ密
輸出團ト云フ七千人バカリノ團體ガアル、
其時々々ニ盛シニ是ガ活躍スル、北支ノ特
殊貿易モ此手デヤッテ居ル、或ハ新聞ニモ出
ル、船ヲ捕ラレタトカ、朝鮮人ガ居ッテ負傷
シタトカ、皆朝鮮人デヤッテ居ル、金ノヤウ
ナ量ノ少イモノハドウシテモ、此人間ガ
活躍スルナラバ、相當ニ密輸出ガ今デモ行
ハレテ居ルト見ラレル、此間大藏次官ノ御
話ハ、元ハ行ハレテ居ッタケレドモ、今日ハ
是ガ少クナッテ、是カラハ行ハレナイ、密輸
出デアルカラ分ル筈ガナイ、三百萬圓位抑
ヘテ三百萬圓位アッタト云フコトハ、ソレヲ
想像スレバ普通其十倍三千萬圓位ハアルデ
アラウ、朝鮮總督府ノ四千萬圓ト云フノハ
七千萬圓或ハ八千萬圓位ノ生産ハアルモノ
ト見テ居ル、ソレガ今ハナイト言フガ、ソ
レハ分ラヌノデ、分レバ密輸出デヤナイ、
必ズ今日デモアルト見テ居ル、ソレハヤハ
リ金買上ノ値段ガ不當デアアルガ爲ニ外國ニ
出テ行クノデアアル、吾々ハ外國カラ日本ニ

入ッテ來テ貰ヒタイ、金集積ノ意味カラ言ヘバ入ッテ來ル位ニシテ貰ヒタイ、少クモ日本ノ國內ノモノダケハ外國ニ出テ行カヌ用意ヲシナケレバナラヌ、此意味ニ於テ吾々ハ十三圓十二錢五厘ト云フノハ適當ノモノデヤナイ、斯ウ云フ風ニ見テ居ルノデアリマス、大藏大臣ハドウ云フヤウナ御考デアリマスカ

○結城國務大臣 金ノ買入値段ハ政府委員カラモ御答シタヤウニ聞イテ居リマスガ、ハ御話ノ通り倫敦ノ金塊相場ヲ土臺ニ致シマシテ、ソレカラ或ル合理的ノ數字ヲ加減致シマシテ決メルノデアリマシテ、是ハ大藏省、日本銀行當局者、其他ニ於テ公正ニ決メテ居リマシテ、只今ノ所デアアノ値デ決シテ低過ギモシナイ、高過ギモセヌ、斯ウ云フ所ニアルヤウデアリマス、併シ密輸出者ハ相當ニアルコトハドウモ事實ノヤウデアリマシテ、是ハ單ニ値段ダケノ關係トモ申セナイノデアリマス、是ハ罰則ヲ揭ゲテ居リマシテモ、中々ソレヲ潛ッテ行クヤウナ次第デアリマスカラ、マア倫敦ノ金塊相場ノ變化ガアルニ從ッテ、日本ノ買入値段ト云フモノモ自ラソレニ副フヤウニ致シマスノデ、只今ノ所ハ其必要ハナイカト思ッテ居リマス、先刻陸軍デト云フ御話ガアリ

マシタガ、陸軍ハ大藏省トカ、日本銀行アタリニ其正貨ノ蒐集ヲ委シテ居ルデアラウト思フノデアリマシテ、陸軍ノ仕事ト云フヨリハ私共ノ仕事デアアラウト思フノデアリマス、是モ一朝事ガアッタ場合ノコトヲ考ヘテ見マスト、ドウモ正貨ノアルニハ越シタコトハアリマセヌガ、其正貨ヲ何カ事ガアッタ場合ニト云フ氣持カラ、何デモ彼デモ抱イテ放サヌト云フコトニスベキノデモナカラウ、貿易尻ノ決濟其他ニ於テ多少ノ正貨ガ出テ行キマシテモ然ルベキデヤナイカ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○松山委員 是ハ見解ノ相違デアリマスカラ、敢テ此機會ニ於テ大藏大臣ニ迫ラウト云フ考ハ持ッテ居リマセヌ、唯私共ガ初メテ代議士ニ出テマダ間モナイ時分ニ、高橋サシガ私共ニ話サレタコトハ、日本ハ借金モアル、併シ二十億圓正貨ヲ握ッテ居ルノダ、是ガ日本ノ力デアル、一方ニ借金ガアッテモ二十億圓ノ正貨ヲ握ッテ居ルト云フコトガ或ル意味ニ於テ世界ヲ怖レサス、或ル意味ニ於テ世界ヲ信用サス力ガアルノダ、個人デ言フナラバ、十萬圓借金シテ居ル、而シテ十萬圓ノ金ヲ持ッテ居ル者ハ社會的ニ力ヲ持ッテ居ル、其十萬圓ノ借金ヲ返シテシマッテ零ノ人間ノ力ト違フノダ、十萬圓ノ

借金ヲ持ッテモ、或ハ十五萬圓ノ借金ヲ持ッテ居ルデモ、十萬圓、十五萬圓ノ現金ヲ握ッテ居ル者ハ社會的ニ力ガアル、此意味ニ於テ日本ガ二十億ノ正貨ヲ持ッテ居ルト云フコトガ力ナシナルト云フ講釋ヲ高橋サンカラ承ッタ、此意味ニ於テ私ハモット日本ニ公債ノ額ガ、例ヘバ公債ガ十億殖エテモ十億圓ノ正貨ヲ握ッテ居レバ宜イ、又二十億殖エテモ二十億ノ正貨ヲ持ッテ居レバ宜イ、是ハ色々ノ意味ニ於テ戰爭ノ準備、外國ニ對スル信用、色々ナ意味ニ於テ非常ニ宜シイト、斯様ニ私共ハ考ヘテ居ル、或ル場合ニ於テ私共ノ其意見ハ又發表シ、又適當ナ機會ヲ得レバ之ヲ問ヒタイト思ッテ居リマスケレドモ、見解ノ相違ト云フ點ニ於テドウモ致シ方アリマセヌ、其意味ニ於テ私共ハ國營精練所ノ問題ヲ一ツ御尋シタイノデアリマスガ、併シ是ハモウ金ハ集積スル必要ガアルカナイカト云フ問題カラ來ルノデスカラ、是ハ尋ネズニ、時間節約ノ爲ニ次ノ話ヲ進メタイト思ヒマス

今一ツ大藏大臣ニ御意見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマスコトハ、先日此席ニ於ケル大藏大臣ノ御答ニ、成ベク農村ニハ負債ヲセシメナイヤウニシタ方が宜イノダ、サウ云フ御考ヲ此處デ發表セラレマシタ、此事ニ

付テ一度私共ノ考ヲ申上ゲテ更ニ大藏大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイ、私共ノ見ル所デアスウ云フ風ニ考ヘテ居ル、茲ニ二ツノ場所ガアッテ、兎ニ角是ハ鐵道ナリ、電車ナリヲ付ケテ、ソレヲ一方ノ方カラ電車ヲ通シテ行クナラ、此沿線ノ物資ハ皆一方ニ集ッテシマフ、シマヒニハ連絡サレテモ一方ノ都會ガ損ヲスル、或ル二ツノ都市ヲ結付ケル場合ニ、鐵道ナラ鐵道ノ工事ヲ早く始メテ貫ッタ一方ガ非常ニ經濟的ニ得ヲスル、此見地カラ今日ノ日本ニ於ケル色々ナ私設鐵道ヲ、例ヘバ東京ト云フ所カラ始メル、大阪ト云フ所カラ始メル、名古屋ト云フ所カラ始メルト云フヤウニヤッテ行キマスルカラ、其意味カラ申シマシテモ、都市ハ地方ニ比ベテ非常ニ得ヲシテ居ル、例ヘバ道路ノ補助政策ヲヤリ、又水道、下水ノ助成政策ヲヤルニシテモ、先ヅ都市カラヤル、又築港ヲヤルニシテモ、先ヅ大キナ港カラ始メル、斯ウ云フヤウナ意味ニ於テ、今日ノ經濟ノ實際ハサウシナケレバ已ムヲ得ナイデセウケレドモ、今日ノ社會ノ經濟活動ノ上ニ於テ、又政治ノ運用ノ上ニ於テ、非常ニ都市ハ地方ニ比ベテ得ヲシテ居ル、ソレカラ又金融ノ點カラ申シマシテモ、租稅ヲ全國カラ集メテ來ル、其大部分ハ是ハ今此處デ

私共議論ノ問題デアリマスカラ、其實例ヲ申サナクテモ宜シイト思ヒマスガ、多クソレハ都市ニ使ハレル、愛國婦人會、赤十字社、濟生會ガ出來ルトカ、地方カラ皆金ヲ集メテ來テ都會デ使用セラレテ、地方デハ餘リ惠マレナイ、此意味ニ於テ都市ニ於テハ豐富ナ金ヲ安イ金利デ使ッテ居ル、地方ノ農村ハ高イ金利ヲ枯渴シタ状態ニ於テ使ッテ居ルト云フ此意味カラ言ッテモ、地方ハ此政治ノ運用ノ上カラ言ウテ、社會ノ特色ノ經濟活動ノ上カラ見テ、非常ニ地方農村ハ損ヲシテ居ル、斯ウ云フヤウナ意味ニ於キマシテ、例ヘバ私共ハ日本ハ朝鮮ヲ併合シタ、朝鮮ノ安イ米ガヤッテ來テ、ソレデ日本ノ米ノ値段ヲ壓迫スル、朝鮮カラ安イ勞力ガ入ッテ來テ、サウシテ此勞力ヲ低下スル、ソレガ爲ニ地方ノ農村ト云フモノハ疲弊シテ居ル、都會ハ恩惠ヲ受ケテ居ル、併ナガラ國家全體ノ繁榮ノ爲ニハハヤラナケレバナラヌケレドモ、今申シマスル國策ノ上カラ、地方ハ非常ナ損失ヲシテ居ル、其地方ノ疲弊シタ其集積ノ結果ガ五十億圓ノ負債ト云フコトニナッテ現ハレテ來タ、此意味ニ於テ私共ハ政治ノ實際ノ上ニ於テ、特ニ地方農村ノ爲ニハ恩惠的ナ政治ヲシナケレバナラヌ、公平以上ニ農村ノ爲ニ恩惠

ニナルヤウナ政治ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ若シ農村ニ負債ガ無イナラバ、大藏大臣ノ言ハレルヤウニ、負債ヲ成ベクセシメナイ方ガ宜シイト云フ、併シ奈何セン五十億ノ借金ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、今後農村ニ負債ヲセシメナイヤウニシテモ、此五十億圓ノ借金ハ償還スルコトハ出來ナイ、ソレデアリマスカラ、私共ハ此農村ニ成ベク豐富ナ金ガ、安ク容易ク得ラレルヤウナ政策ヲ執ッテヤル必要ガアル、尤モ其中ニハ不都合ナ心得違ヒノ者ガアッテ、借金ガ出來ルカラト云フノデ、ソレヲ濫費シテシマフヤウナ場合ガナイトモ限ラナイ、朝鮮邊リニハサウ云フ例ガ能クアリマス、自轉車ヲ買ヘルヤウニナッテ、自轉車ヲ買ッテ、又借金シテ田畑ヲ二反モ三反モ賣ッテ身上ヲスッテシマフ者ガアル、併シサウ云フ者ハ馬鹿者デスカラドウモ仕方ガナイ、既ニ五十億ノ借金ヲ背負ッテ居ル農村デアリマスカラ、豐富ニ金ヲ廻シテ貰ッテ、サウシテ經濟的ニ有利ニ活動スルヤウニシナケレバ、此五十億ト云フ借金ハ返セルモノデハアリマセヌ、此意味ニ於キマシテ、私共ハ大藏大臣ノ、農村ニハ成ベク借金セシメナイ方ガ宜シイト云フ此御考ハ、

社會ノ實情ニ照シテ間違ッタ考ヘ方デアル、斯ウ云フヤウニ私共ハ考ヘルガ、モウ一度大藏大臣ノ御意見ヲ承リタイ
○結城國務大臣 私ノ申上ゲタコトハ、都會ト地方ト云フノデアリマセヌ、農業者、農村ト商工業者ト、斯ウ云フコトニ分ケテ考ヘタノデアリマス、ヤハリ農村、農業者ト云フモノハ自給自足ガ本旨デアラウト、斯ウ思フノデアリマス、餘リニ金錢經濟ニナリ過ギタノデハナイカ、ソレカラ此農業ト云フモノハ利廻ノ薄イ仕事デアルト云フ、自分ノ勞力ガ鹽テ利潤ノ一部ニナルト云フ程度ノ非常ナ薄イモノデアル、是ガ利息ノ付ク金、ソレモ安イ利息デアルナラバ、或ハ年賦トカ其他ニ依ッテ償還シ得ル借金デアリマスナラバ、サウ苦痛デナイカモ知レマセヌガ、相當ニ高イ借金ヲ致シマスコトニナルト、モウソレガ一生ニ抜キ切レナイ累ヒニナッテ來ル、幾ラ働イテモノ元金ハ勿論ノ事、利息ヲモ納メルコトガ出來ナイト云フ状態ニ陥ルノガ多イノデアル、今日御話ノ通り、五十億ノ借金ト云フモノハ、ヤハリサウ云フ風ナコトガ段々重ナッテ來タ結果デアラウト思フノデアリマス、ソレデ今アル借金ハ、是ハ其負債整理ノ方法ヲ立テ、出來ルダケ其負擔ヲ輕ク

シテヤルト云フコトハ、是ハ政府當局者ト致シマシテモ、又地方ノ指導者方ト致シマシテモ、又農民自身ト致シマシテモ、其事ハ考ヘテ、サウシテ出來ルダケ其整理ヲシナケレバナラヌノデアリマスガ、併ナガラ商工業者ト違ッテ——商工業者デアルナラバ、或ル程度ノ借金ヲ致シマシタ所ガ、ソレヲ繰廻シラ付ケテ行ッテ返シテ行クコトハ容易デアリマス、又サウ云フ人ハ資本ト云フモノ、力ニ依ッテ行カナケレバナラヌ場合ガ多イト思ヒマスカラ、ソレハ商工業者ノ金融ト云フコト、ハ違ッテ、農村ノ方ニ於テハ出來ルダケ自給自足、借金ヲシナイヤウニシテ行クト云フ心掛ヲ以テ行クコトガ必要デハナカラウカ、出來タ借金ハ何トカシテ整理シテヤラナクテハイカヌガ、將來ノコトヲ考ヘルト、出來ルダケ借金ヲサセナイヤウニシテ——或ル時代ニハ斯ウ云フコトモアッタト思ヒマス、日本ノ國ノ財政ガ既ニサウデアッタト思フノデアリマスガ、知ラズ識ラズノ内ニ暮シノ爲ニ借金ヲシテ行ク、冠婚葬祭、子供ノ學資金ト云フヤウナコトデ、無理ヲスルト申シマスカ、知ラヌ間ニ行詰リテ來シテ行ッタ時代ガアルノデアリマス、サウ云フコトハ農村ナドトシテハ餘程避ケナケレバナラヌ、

極端ニ自給自足ト云フヤウナコトモ出來ナ
イノデハアラウト思ヒマスガ、佛蘭西ノ農

民ノ今日強イト云フコトモ、ヤハリ葡萄酒
カラ其他何モ彼モ自給自足ヲヤッテ居ルト

云フヤウナコトニアルノデハナカラウカト
思ヒマスノデ、私ノ申シマシタノハ、農村

農業經營者ト云フモノハ、出來ルダケ借金
ヲスルコトヲ避ケナケレバナラス、併シ出

來タ借金ハ何トカシテ負債整理ノ方法ニ
依ッテ整理ヲサセテヤラナケレバイカヌガ、

將來ニ於テハ借金ヲスルコトハ努メテ避ケ
サセルヤウニシナケレバナラス、斯ウ云フ

意味デ申シタニ過ギナカッタノデアリマス
○松山委員 御答辯ニ私共ハ満足ハ致シマ

セヌ、五十億ノ借金ヲ直グ今拂ッテ呉レル
ナラバ、其議論デ通リマスガ、農村ハ其借金

ヲ背負ッテ居ル、ソレヲ拂ヘヌカラ借換スル
ノニ、安イ金利デ豊富ニ金ヲ借りレバソレ

ハ出來ルガ、今ノ狀態デハ中々借りラレナ
イ、ソレデ無理算段ヲシテ田地ヲ賣リシテ、

困難ナ所ニ又困難ナ條件ガ集積シテ、愈々
困難ガ加ハッテ行クノデアリマシテ、今自給

自足、ソレモ一ツノ考ヘデスガ、ソレハ
農民自身ガ考ヘルコトデアル、國ノ政治ト

シテハ、農林省ナリガサウ云フ方針デ指導
スルノハ宜シイガ、今日ノ負債デ惱ンデ居

ル者ヲ、今大藏大臣ノ言フヤウナ意味デ
ハ、決シテ農村ノ困難ハ除去セラレルモノ

デハナイ、ヤハリ其御答辯ニ依ッテ大藏大
臣ハ農村ニ理解ノ少イ人デアルト云フコト

ヲ考ヘザルヲ得ナイコトヲ甚ダ遺憾トスル
ノデアリマス、ソコカラハ見解ノ相違ニナ

リマスカラ、私ノ質問ハ是デ終ルコトニ致
シマス
○氏家委員 豫算關係ノ案ダケハ質問打切

ニシテ進行スルヤウニシテ戴キタイト思ヒ
マス
○木暮委員長 皆サンニ御諮リ致シマス、

氏家サンカラモ御發議ガアリマシタガ、昭
和十二年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲

公債發行ニ關スル法律案、昭和七年法律第
一號中改正法律案、昭和七年法律第十二號

中改正法律案、日本銀行條例中改正法律案、
日本銀行參與會法廢止法律案、東京農業教

育專門學校創設ニ伴フ帝國大學特別會計及
學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律

案、帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢
及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓

ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債
發行ニ關スル法律案、右七案ニ對スル質問

ハモウ大體ニ於テ終了致シタヤウニ思ヒマ
スガ、只今ノ氏家サンノ御發議モ、此程度

デ此七案ニ對スル質疑ハ終了スルコトニシ
テハドウカト云フ意味デゴザイマスガ

○片山委員 私ハ治外法權ニ關スル法律案
ニ付テ質問中デ、今日御尋シタケレドモ、

分ラヌカラ取調ベテ返事ヲスルト云フコト
デシタガ、マダ……
○木暮委員長 ソレデハ昭和十二年度一般

會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關ス
ル法律案外六件ニ對スル質問ハ、只今ノ片

山君ノ質問ニ對スル政府ノ答辯、竝ニ其際
ニ簡單ナルモノナラバ御許致シマスガ、片

山君ノ質疑ニ關スル點ダケ殘シテ、他ハ全
部終了致シテ、當委員會ノ取扱トシテハ採

決ダケガ殘ルコトニ決定シテ御異議ハアリ
マセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○木暮委員長 御異議ナイト認メマス、仍
テ右ノヤウニ致シマス、就キマシテハ今後

ハ只今議題ニナッテ居リマスル日本銀行金
買入法中改正法律案、昭和十二年度一般會

計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關
スル法律案、是ハ即チ追加豫算ノ分デアリ

マス、ソレカラ神戸商業大學移轉改築費ニ
充用シタル金額ノ補填ニ關スル法律案、右

三案ハ本日政府ヨリ詳細ナル御説明ガゴザ
イマシタカラ、明日ヨリ是ノ質疑ニ入ルコ

トニ致シマス、本日ハ是デ散會致シマス
午後五時散會